

ぬま
た

広報

public relations
Numata
[こうほう・ぬまた] Apr.2006 No.498

4



特集：住民と協働で進めるまちづくり
平成18年度町政執行方針

沼田町公式ホームページ

<http://town.numata.hokkaido.jp>

沼田小学校入学式（4 / 6）

平成18年度 町 政 執行方針

地方分権社会を迎え自己責任、自己決定を基本とした新しい地域社会づくりが強く求められている今日、再生する沼田町の実現は町民の皆様の意志と責任において、まちづくりに参画いただき、その知恵と熱意が新しい沼田町の創造に繋がると信じております。

国政は、都市重視の政策が進められ、課税客体に乏しい地方は極めて厳しい財政運営状況にあり、今後も積極的に行財政改革を進めることが必要であります。

町民の皆様のご理解とご協力をいただき、町民の視点に立った改革を進め、行政と住民が一体となった「協働のまちづくり」を目指し再生する沼田町実現のため全力で取り組んでまいります。



行政と住民が一体 「協働のまちづくり」

平成18年度 町政執行方針 沼田町長 西 田 篤 正

国の財政難から端を発し、国が打ち出した三位一体改革、市町村合併、交付税の削減等は、特に小規模市町村にとってはその影響は大きく、厳しい財政運営を迫られています。

当面自立を選択した本町は、自立再生に向け、議員各位並びに町民の皆様方のご理解をいただき、「わが町再生プラン」に沿って様々な改革を進めているところであります。

更に行政コストの削減や行政事務の効率化を図るべく、各町が連携し広域で行える行政事務等を北空知五町で組織する「北空知広域連携自治研究会」で協議を進めることとしておりますが、こうした自立に向けた地方の血の滲むような努力や意志を無視し、国及び北海道は、合併新法により更に強力で合併を推進しようとしており、加えて地方財政の根幹をなす地方交付税は、年を追うごとに削減されている現状にあります。

一方、中央では景気が回復し相当の税収が見込まれると報じられておりますが、中央重視、地方切り捨ての感が辞めない我が国の現状は、将来の国のあるべき姿と地方の行く末を危惧せざるを得ないのであります。



本町の基幹産業であります農業は、昨年、好天に恵まれ、特に稲作においては近年まれに見る大豊作となったところであります。

しかし、市場原理の下、米価は下落し農業収入は減少、次の農業経営が危ぶまれる現状にあります。こうした状況を打開するには、国が自国の食糧の確保を重要な課題として広く国の理解を求め、農業所得補償など、担い手が意欲を持てる新たな農業政策の確立が必要不可欠であります。

この優れた稲作を中心とする地域で安定した農業の経営ができる制度の実現に向け、各関係機関と共に強力に要請してまいります。

豊かな恵みと自然に包まれた本町は、沼田喜三郎翁が開拓の鋤を下ろしてから一一〇余

年の歴史を刻み、先人が築いて来た風土や文化を大切にしながら今日を迎えております。日進月歩、刻々と変化する社会情勢や厳しい行財政環境の中ではありませんが、町民の皆様が夢と希望の持てるまちづくりに職員一丸となつて努力を傾注してまいります。

平成十八年度の施策の執行にあたりましては、国の動向に加え北海道の大幅な支援策の削減による地方への負担の

増大が予想されるところであります。更に行財政の改革を推進し、効率的で有効性のある行財政運営を図りながら、真に町民の皆様との協働を具現化し、対話と協調を重ね、再生する沼田町を目指し全力で取り組む決意であります。

以下、各予算を通じて各般の項目とその概要を申し上げます。

住民参加で進めるまちづくり

「協働によるまちづくり基本条例策定」

これからの町政運営の指針として定めました「我が町再生プラン」の基本理念である「住民との協働で進めるまちづくり」を推進するためには、住民と議会、行政がそれぞれの役割と権利、責任を明確にし、住民の参画を確かなものにする必要があります。

このことから、今後のまちづくりに関しての共通のルールとも言つべき「沼田町まちづくり基本条例」を制定いたしました。

この「まちづくり基本条例」

に基づき、行政区あるいは自治振興協議会等関係諸団体とも連携を図り、役割と権利、責任を明確にし、住民の参画を得ながら進めてまいります。この条例の制定を機に「協働によるまちづくり」が一層進み、今日の自立が未永く維持されることを期待するものであります。

「協働によるまちづくり」には、住民との協働システムを早く構築し、行政と住民が対等な立場で自分たちの将来の地域を考え、住民一人ひとりが誇りと愛着を持ち、生きがいを実感できる魅力ある町の実現が極めて大切であることから、新たに「協働のまちづくり推進委員会」を設置し、

行政としても最大限の努力をしてまいります。

行財政改革の推進 まちづくり条例の制定

行政改革の推進につきましては、沼田町行政改革大綱に基づき、平成八年より毎年度、行政改革推進本部で検討、協議し実施しているところであり、以下の項目について本年度も積極的に取り組んでまいります。

- (一) 行政組織に関する見直し
- (二) 税及び公共料金等に関すること
- (三) 行政サービスに関すること



- (四) 民間への委託、移管を進める取組み
- (五) 広域連携を検討する事業等

いずれにいたしましても、住民のニーズに即応した諸施策を実施し、厳しい財政状況を乗り切るため、社会、経済情勢の変化に対応した住民の目線に立った行政改革を行い、簡素で効果的な行政運営に心がけてまいります。

市町村合併につきましては、旧合併特例法の下、沼田町は、当面は、自立の道を進むことを選択し、今後の町政をどのように展開すべきかについて、指針となる「我が町再生プラン」を策定し、平成十七年度から進めているところであります。

しかしながら、国、北海道は、新合併特例法（平成十七年四月一日、平成二十一年三月三十一日）に基づき、市町村合併は、あくまでも市町村が住民の意向を踏まえて自主的に判断するものといいますが、基礎自治体の人口規模を三万人とし、平成十八年の出来るだけ早い時期までに合併の組み合わせや合併構想を提示する予定であります。

このような地域の多様性を尊重せず自主的な選択を否定する市町村合併の更なる推進に慎重に対応するため、先般、

設置されました「北空知広域連携自治研究会」で現行の広域行政のあり方や広域連合の検討を行い、行政運営の持続可能なあり方について幅広い考え方に立って、検討しながら本町の進むべき道を考えてまいりたいと思います。



豊かで潤いのある農業の振興

安全安心な良質米 売れるコメ作り

昨年の水稲作柄は、全国的な豊作から収量的には区分出荷扱いとなる程の収量となりました。米価格は三年続きの下落となり、手放しでは喜べない状況にあります。米を始め、農産物価格は低迷し、農業所得が大幅に低下し、加えて、米消費の減少傾向、景気停滞などにより農業を取り巻く情勢は、一段と厳しい状況下にあります。

平成十八年度産米の全国生産目標数量は、需要に応じた生産を基本としつつ、平成十七年度産米の作柄や在庫状況、特に、豊作及びその他の要因による相当量の過剰生産が発生したことを勘案して、平成十八、十九年の需要見通しから豊作等による過剰分を控除した八三三万トンを生産目標とする方針が示されました。

このことから、沼田町における平成十八年度産米は二、四五六ヘクタール、一三、四四〇トンが割当となり、前年に比較し六二ヘクタールの転作強化となりました。稲産地作り交付金会計は、稲

特融通金の廃止、転作増加の要因から約三、三〇〇万円の財源不足となりますが、地域とも補償を充当し、割当生産目標数量の厳守、転作面積の完全消化に取り組むことを沼田町水田農業推進協議会で決定いたしましたところであります。

水稻を中心とする本町農業においては、生産費用を下回る米価から再生産が困難な状況に直面し、一段と厳しい環境にありますが、平成十九年から国の政策として、担い手の経営全体に着目した品目横断的政策の導入により米政策改革推進対策、品目横断的政策、資源・環境対策等の直接支払制度が実施されることとなっており、農業経営安定に期待を寄せているところであります。認定農業者（一〇ヘクタール）の育成と経営指導部門の強化が急務であります。

農業諸対策を 重点に推進・支援

本町農業が持続的発展を遂げるための独自農業支援対策であります予算総額約二、

八〇〇万円を計上し、農地流動化支援事業、ハーブ植栽事業等の農村環境事業、都市との交流事業、消費拡大対策、農業実習生受入事業、生産組織育成支援事業等を重点に推進してまいります。

また、新規作物導入による所得確保対策としてケール、有機トマト、りんどう等の試験栽培への支援を行うこととしております。

国営雨竜川中央地区につきましては、平準化事業により繰上償還することによる事業年償還額が引き下がり、農家負担軽減に繋がることから、市町村ガイドラインの六億三、六二七万八千円を計上し、別枠で償還金の一部三、三五〇万円を助成することとし予算を計上いたしました。

農業関係団体長会議の意向を踏まえ、沼田農業の危機的状況を打開するため、水稻共同育苗、農産加工販売について早急に検討を加えるとともに国営農地再編整備事業の採択基準緩和についての要請活動、農家個々の意向把握に努め、農業者が必要としている対策を今後、的確に講ずる対応をしてまいります。

農産加工場と牧場 健全経営の努力を

農産加工場につきましては、加工委託の減少や製品販売高の減少から総売上高の現状維持には厳しい状況にありますが、新商品の開発として「雪中じゃが（レトルト）、ポタージュ、生食」の試作、有機トマトジュース、トマトソースなどの製品化に取組み、より安全な製品の生産のため必要な機器の充実を図る費用一、一三二万二千元を計上するとともに経費節減などに主眼を置き、健全経営に向け努力してまいります。

五力山牧場につきましては、平成十八年三月三十一日を以て北竜町が脱退いたしますが、沼田町として引き続き、一般会計に必要な予算を計上し、畜産経営を行ってまいります。

経営方針といたしましては、極力投資額を控えることとし、ビニールハウス畜舎を取得することにより絶対飼養頭数を確保し、経営の安定を図る等、常に経営改善に意を用い、繰上負担の軽減に努めてまいります。

また、道産品に対する信頼の高まりを背景に昨年の秋以降、台湾の高級スーパー「裕

毛屋」において沼田産品の販売が行なわれているところですが、それらの販売促進を目的とした「北海道沼田フェア」がこの一月、現地において町内の生産者等一〇名が参加のもと開催されました。

期間中、雪中米やトマトジュースなどを中心に試飲や試食を交えてのPRを行ったところ、台湾の消費者には、殊のほか評判が良く、今後への弾みとなる大きな成果を上げられたとのことであります。

低迷する農業情勢を何とかして打開しようとする町民自らのこうした取組みについては非常に意義深く感じており、今後は販売の拡大とともに観光客の受入れにも繋げていくよう、関係者や関係団体とも連携を図りながら一層の努力をしてまいりたいと考えております。



活力に満ちた商工観光の振興

市街地形成に向け 駅前再開発計画策定

設立以来三年が経過しましたTMOにつきましては、ポイントカード事業や「沼田絆の会」事業が順調に推移し、着実にその成果が現れて来ております。

また、道の改良事業に併せて計画をいたしております駅前再開発についても、その方向性や内容等について精力的に議論をいただいております。新年度はそれらをより具体化するための計画策定業務が予定されております。

町としても将来の商店街や市街地形成にも絡む重要な事業として認識しており、今後はTMOや商工会とも、より連携を密にしながら実現に向けて出来る限りの支援をしてみたいと考えております。

なお、駅舎側の駅前広場整備については平成十九年度の実施に向け、用地取得等に係る予算を計上したところであります。

この他、道費補助の削減が著しい商工会運営費（職員の

人件費分）についても現行水準を維持できるよう補助の増額を行う他、例年行なわれております「ふるさとクーポン」の発行や商工青年部による「いいこの広場開設事業」等にも支援をしております。

夜高あんどんまつり 三十周年記念事業

観光事業につきましては、今や道北屈指のイベントとなりました「夜高あんどん祭り」が三〇周年を迎えることか



ら、本年は節目に相応しい趣向に富んだ賑わいのあるお祭りとするべく記念事業補助を予算計上し、実施にあたつては、実行委員会や保存会とも連携を図りながら取り進めてまいります。

また、「ほたる」については、従来の「ほたる祭り」に加えて、雪解け後、幼虫が上陸する様子を一般の方々にご覧いただくような、ほたる館の相乗効果を考えながらの取り組みも検討中であり、今後「ほたる研究会」の協力をいただきながら取り進めてまいります。

その他、新たな冬季イベントの構築を目指して昨年度よ

り取り組んでおります「冬のほたる」につきましては、これまでの経験も踏まえ、更に工夫を重ねながら「雪と共生するまち」にふさわしい、町内外から注目をいただけるような個性的なイベントに発展させてまいりたいと考えております。

企業誘致と行刑施設誘致運動の推進

企業誘致につきましては、健康飲料の生産を中心とする農産物加工会社から昨年来寄せられている原料の試験栽培について、現在、企業側と連携を図りながら準備を進めているところです。

本町としてもこのことが農業の振興に寄与し、また、新たな工場立地に発展し得ることと念頭に置きながら、前向きに取り組んでまいりたいと考えております。

また、工場竣工からほぼ一年が経過した日本パッケージシステム(株)につきましては、受注が安定してきたことから人員の増強を含めた生産規模の拡大を検討中とのことであり、今後も事業が円滑に運営されるよう出来る限りの支援をしております。

併せて道内外の企業に対する意向調査や各方面からの情

報をもとにした企業訪問活動を積極的に展開するなどして、新規誘致の実現に努め、従来から実施しております「二十一世紀ふるさと活性化支援事業」に対する所要額を計上し、新たな分野での活用を期待しているところであります。

行刑関連施設誘致につきましては、昨年末に国から打診のあった更生保護関連施設の設置について、これまで国に対し本町の考え方を示しながら具体案に関しての協議を進めているところであります。

当初の施設規模は、数十人程度の小規模なものが想定されておりますが、今回の件についてはこれまでの誘致活動がもたらした成果であることと、これまで例の無い全国初のモデルケースであること等を考え合わせますと、その意義は非常に大きく、また、地域への波及効果も絶大であると理解しております。

今後は、誘致期成会や関係団体とも連携を図りながら、また、住民の皆さんにも理解を求めながら早期実現に向け取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

冷熱エネルギーの需 要と運営方法検証

雪山センタープロジェクトにつきましては、本格的な事業実施に先立ち、昨年末から今年にかけて国の支援をいただき、予定地（五ヶ山地区）の地盤整備を行ったところで

これにより雪山センター施設の着工に向けた準備も大詰め段階に至っているところであり、新年度は最終段階として施設の健全運営を図るための冷熱エネルギーの需要と運営方法に関する検証を行うこととしており、そうした内容も踏まえながら施設整備の具体化を図ってまいりたいと考えております。

併せて、国、道等の支援をいただくための要請活動も継続し、プロジェクトの早期実現を目指してまいります。

ほろしん温泉白樺館 岩盤浴の設置へ

ほたる館の運営につきましては、昨年より効率的な運営と経営に対する社員の意識改革を図るべく、新たな体制のもと「本物の健康と癒しの場の提供」をスローガンに掲げ、

営業をしてきたところであり、特に温泉利用者からの声が多かった「ここならではの逸品づくり」は、地元農産品を活用した「雪中そば」や「雪中じゃがうどん」を昨年六月より販売し高い評価を得ており、温泉利用者の集客に繋がるものと期待しているところであります。

一方、収支の改善に努め、増収に繋ぐべく町民の方々の協力も得て、多方面への営業や道の駅などの周辺施設へのPRチラシの配布、過去の利用者への定期的なDMの発送など様々な取組みを実施してまいりましたが、冬期間に入り客足が伸びず、加えて原油

高騰による大幅な燃料費の増加が収支バランスを悪化させる厳しい状況となっております。今後、ほたる館の経営につきましては、昨年、新設されました「いこいの森公園パークゴルフ場」や「オートキャンプ場」など周辺施設の有効利用を図り、集客力の強化、収益の向上に努めてまいります。



高騰による大幅な燃料費の増加が収支バランスを悪化させる厳しい状況となっております。

今後、ほたる館の経営につきましては、昨年、新設されました「いこいの森公園パークゴルフ場」や「オートキャンプ場」など周辺施設の有効利用を図り、集客力の強化、収益の向上に努めてまいります。

やさしさ満ちた地域づくり

地域子育て支援を推進 ファミリーサポート センターを設置

北海道は、全国を上回る速さで少子化が進行し、女性が一生の間に生む平均の子どもの数を示す合計特殊出生率は、都道府県の中で四番目に低い水準となっております。

少子化は、子どもの育ちだけでなく、人口の減少による経済や地域社会の活力低下など、社会の様々な仕組みに関わる大きな問題であります。

本町においても少子化の進行は顕著であることから、昨年、道が進める地域子育て力強化事業の補助を受け、地域

なお、検討してまいりました白樺館の改修につきましては、「リニューアルに向けた活性化コンサルティング」の報告書が出来ましたので、これを参考に新たな魅力づくり等、具体的なリニューアルの検討を加え、本年度より二か年で改修を行うべく、その費用を計上しております。

において子育て支援を推進する「ファミリーサポートセンター」を社会福祉法人沼田保育園の協力を得て設置し、三月から本事業がスタートして



おります。今後も講演会等を通して事業の概要やシステムの内容について説明を行いながら会員の募集に努めてまいります。

また、近年、育児力の低下、虐待など様々な問題が浮上しています。当町においても、行政だけでなく、知育や子育て支援センターなどの関係と連携を図り、子どもが心身ともに健やかに成長し、親が安心して育児ができる環境づくりの強化が求められており、十八年度におきましても、認可保育所保育料について、国の基準の三〇％軽減、季節保育所に対する運営費の助成や乳幼児医療費一部負担金の助成等を継続、また、母子の健康づくり事業としての各種検診や健康教育事業の実施を通して子育て支援に努めてまいります。

地域包括センター 設置で介護予防対策

健康推進については、昨年十二月一日の「医療制度改革大綱」で生活習慣病予防の本格的な取組みが盛り込まれ、老人保健事業の制度も大きく変わろうとしており、特に壮年・中年層の健診・保健指導の重要性がより一層高まっております。

それに伴う健診体制の整備を図り、健診結果に基づく事後指導の徹底や予防のための食生活改善、運動の習慣化に努めてまいります。

また、昨年、六月に介護保険法の改正が成立し、施設サービス利用者のホテルコストに係る費用の自己負担などは、平成十七年十月一日より施行されており、改正の大きな柱とある「予防重視型」システムの構築としての「地域支援事業」「新予防給付」の創設は、平成十八年四月一日から施行されることとなります。

これからの超高齢化社会を明るく活力あるものにするために、「健康な六十五歳」を目指す従来の生活習慣病対策に、「活動的な八十五歳」を目指す廃用性症候群等の生活不活性化対策を加え、要介護状態の予防を目的として、高齢者を対象に介護予防に関する情報提供を行い、更に虚弱高齢者を早期に見出し、生活機能向上を図るよう努めてまいります。

また、これらが効率的、効果的に展開されるために、「地域包括支援センター」を設置し、地域の関係機関との連携を強化しながら、介護予防マネジメント、総合相談、権利擁護事業等を実施いたします。

ます。

高齢者パワーリハビリ通年実施体制

平成十六年度から実施し介護予防に大きな成果を挙げている高齢者パワーリハビリテーション事業については、事業の充実強化のための地域支援事業と新予防給付の両面で展開できるよう社会福祉協議会の通所介護事業に委託し、通年実施体制を確保いたします。

また、障がい者福祉については、福祉サービスの原則一割負担、「身体」「知的」「精神」のいわゆる三障がいの制度一本化などを柱とした障害者自立支援法が昨年十月に成立し、本年四月一日から施行となります。

この制度によって市町村が担う役割は更に大きいものなつてきております。なかでも審査会については、広域による共同設置も可能なことから、現在関係市町と検討しており、結論が出しだい対応するとともに、支援費制度がスタートして僅か三年での大きな改正であることから、制度移行による業務等を円滑に推進できるよう新たに設置する地域包括支援センターの中で

適切に対応するよう努めてまいります。

医療機器導入し充実図る厚生病院の方向性検討

また、地域医療の重要な役割を担う沼田厚生病院に対し、機器の老朽化や機能の低下から診断に支障を来している電子内視鏡システム及びX線造影撮影装置の更新を行い、診断機能の充実、向上を

図るため、この更新にかかる経費について助成することとし予算計上したところであります。

なお、厚生病院の改築等については、本年度、庁舎内での検討委員会において、町の将来を考慮し、地域における病院の在り方、その規模等を検討し議会並びに町民の皆様と十分な議論をしたうえで判断してまいりたいと考えております。

住みやすい快適な環境づくり

人にやさしい道路 旭町公園線歩道整備

建設事業予算については、今後、更に町財政が厳しさを増すことが予想されますが、第四次総合振興計画の着実な実施と建設事業に対する雇用の確保及び地域経済に与える影響を考慮し、予算化を図つたところであります。

また、公共工事の品質確保を図ることを目的に、平成十七年四月に品質確保法が施行され、発注者においても品質の確保を図るため適切な発注事務の実施を求められることから、公正を図りつつ、価格

及び施工経験等の技術力を総合的に評価し決定する「総合評価落札方式」の採用等多様な入札制度の採用に向けて検討を進めてまいります。

道路事業につきましては、人にやさしい道づくりを基本に道路の「バリアフリー化」を進めるため、旭町公園線の歩道整備を新規の事業として実施することとしております。

また、平成十四年度より進めております口美葉牛幹線の改良工事を完了することとして所要額を予算計上いたしております。

シルバータウン構想実現へ 萌の丘を植栽面積拡大

次に、萌の丘周辺の整備につぎましては、ルピナスの植栽面積の拡大を図るとともに、春から夏まで楽しむことが出来るような花の選定と植栽を行い、今後、近隣町と連携を図りながら「花による観光」の拠点となるように整備を進めてまいります。

また、幌新いこいの森公園をほたるの保護を図りながら、より身近にほたるを観賞出来るように木道を整備することとしております。



次に、昨年策定した「まちなか定住整備計画」に基づき、今後、TMO計画及び沼田厚生病院の改築計画と連携を図りながら、高齢者が快適で、安心して暮らせる住環境「シルバータウン」の実現に向けて検討をまいります。

住民と協働で進める町づくりとして、明日萌街道の景観保存ボランティア等環境美化運動を引き続き実施するとともに、昨年、行政区の協力をいただき、比較的規模の小さい公園の管理を行政区の手によって実施することが出来ましたが、引き続き協力をお願いするとともに、対象公園の拡大を図りたく行政区と協議を進めてまいります。

定住促進事業を継続実施 移住促進対策推進

定住促進対策につきましては、沼田町定住促進条例（十八年度が最終年）に基づく住宅の新築や融雪設備の設置等に対する助成措置を継続する他、団塊の世代と言われている年代の方々が二〇〇七年以降に退職を迎えることを踏まえた移住促進対策に必要な関連の予算を計上し、道や関係団体とも連携の上、各種取り組みを積極的に展開してまいります。

安心、安全なまちづくり

交通事故死ゼロ二五〇〇 日めざして運動推進

昨年、道内の交通事故死者数は、前年比八五人減の三〇二人となり、五連続で減少するとともに永年の悲願でありました「全国ワーストワン返上」を十四年ぶりに実現することが出来ました。

このことは、交通安全運動に携わる関係機関、団体等の連携の下、期別運動、特別運動、地域・職域運動を丸となり効果的に展開した成果であり道民のひとりとして関係各位に心より感謝を申し上げます。

本町においては、現在、「交通事故死ゼロ二、五〇〇日」（四月一日現在で二、四六八日）の目標達成に向けて交通安全運動を展開しております。



な交通事故の犠牲者を一人でも少なくするため沼田警察署、沼田町交通安全協会等の関係機関、団体と連携を図り、交通安全運動の取組みに努めてまいります。

防犯運動については、全国的には刑法犯全体の認知件数が減少傾向にあるものの、子どもが犯罪被害や危険にさらされる「連れ去り事件」や「殺傷事件」等、また、高齢者を狙った「振り込め詐欺」や「悪質な訪問販売」等による被害が依然と多く発生しております。



昨年、本町においても未然に防止されたものの振り込め詐欺や悪質な訪問販売の事案が発生しており、地域での防犯運動の重要性が増しております。

犯罪被害を未然に防止するためには、地域ぐるみでの犯罪抑止活動の推進と自主防犯意識の高揚を図ることが必要であり、沼田警察署をはじめ関係団体と連携し、「安全で安心して暮らせる地域づくり」に努めてまいります。

また、日常における町民の防災意識の高揚と消防活動や救急、救助体制の充実強化を図る意味で今年度、石狩川開発建設部、土木現業所の協力

を得て、洪水ハザードマップを作成することとしております。

引き続き、「安全で安心して暮らせる地域」の確保のため、地域住民と連携し、防災、消防体制の充実、強化を図ってまいります。

また、住民の生命、財産を守るために活躍をいただいております沼田消防団が本年開催される北海道消防操法訓練に管内の代表として参加するため、その成果を期待しながら、その必要な経費及び日常活動に要望のあった人員輸送車等の予算化を図ったところであります。

二十一世紀に生きる人づくり

住民参加型「はばたく沼田」こ支援事業」を継続

まちづくりの基本は、人づくりであるとの考え方に立ち、子供達の心身の健全な成長を促すことを目的とした「はばたく沼田」こ支援事業」を平成十七年度に設けたところでありましたが、平成十八度においてもこれを継続し、将来を担う子供達の学習や生活環境等の充実を更に図ってまいります。

なお、当事業については、本年同様住民から提案を募り、別に設ける審査会において内容を決定する住民参加型の事業として実施する考えでありますのでご理解を賜りたいと存じます。

沼田高校の状況につきましては、多くの皆様に多大なご協力をいただき、その存続に向け取り組んできたところでありましたが、十八年度の沼田高校への志願者数は十二名と残念な結果となりました。

今後におきましては、道教委による公立高等学校適正配置計画の推移を見て対処してまいります。従来実施してまいりました支援策について

必要な所要額を予算計上しております。

また、本町と姉妹都市のカナダ・ブリティッシュコロンビア州ポートハーディ地区との交流については、今年度は、本町からの派遣の年となっており、中学生三名、高校生三名、一般町民二名、引率二名の計十名で派遣団を結成し、九月から十月にかけて実施する予定をしており、これらの関係予算を計上いたしました。

姉妹友好都市、小矢部市との交流については、本年、小矢部市の中学生の受入れに要する費用を計上いたしているところであります。



各施設、特別会計・事業会計

養護老人ホーム特別会計

養護老人ホームにつきましては、平成十八年度の制度改正により施設の転換を求められておりますが、利用者の現状及び施設の将来展望を見据えて、沼田町に適した施設の転換方法を検討してまいります。

今後経費の節減及び創意工夫を図りながら、利用者に親しまれる施設づくり、そして利用者と家族に喜んでいただける処遇に努めてまいります。

特別養護老人ホーム特別会計

平成十二年の介護保険制度導入後、国は、近年、財政困難な理由から目まぐるしく変わる制度の改正を行い、介護報酬の見直しから、福祉施設を運営する者にとって非常に厳しい状況となっております。

その厳しい状況の中にあっても、高齢化時代が続く限り、施設の利用を求める人が後を

絶たない状況にあり、施設経営の安定を図りながら利用者へのサービスの向上を常に考え、適切な施設の運営に努めてまいります。

なお、今年度、施設屋上の一部の防水加工改修に係る費用並びに開設当初からの使用で老朽化が著しい特別浴槽の機械更新の費用を予算計上いたしております。

国民健康保険特別会計

国民健康保険は、国民皆保険を支える制度として他の制度に加入しない高齢者や低所得者を多く抱えるという構造的要因があり、更に高齢者を中心とした医療費に増高が続いていることから厳しい運営状況にあります。

昨年十二月一日に政府・与党医療制度改革協議会において「医療制度改革大綱」が決定、これを受け十二月一八日には診療報酬の引き下げが決定されております。

「医療制度改革大綱」では、治療重点の医療から疾病予防を重視した保険医療体系への転換を図り、将来の医療費の

伸びを抑制することとしています。こうした医療制度改革によって国保運営に及ぶ影響等を十分に把握し適切な対応に努めてまいります。

介護保険特別会計

昨年成立した介護保険法の改正により従前の介護給付経費に加え、予防を重視した地域支援事業における介護予防事業や新予防給付にかかる経費についても介護保険会計で計上し運営することとなりました。

大きな制度改革の下、平成十八年度から二十年度における第三期の介護保険料については、過去の介護保険サービスの給付を考慮し、新たなサービスの推計に基づき試算するところでありましたが、第一期及び第二期の事業費が黒字基調で推移したことから介護給付費準備基金の一部を繰り入れることとし、基準月額を三、二六〇円に変更、また、保険料納入段階区分の変更も併せて行うこととした沼田町介護保険条例の一部改正を本定例会に提出いたしております。きまますようお願いいたします。

老人保健特別会計

平成十四年十月から老人保健の対象年齢が段階的に五年間かけて七十歳から七十五歳に引上げとなる改正により受給者が減少、これにより医療諸費も減少しております。

平成十八年度においても受給者が更に減少することから過去二か年の医療諸費支出額を考慮し、支出総額で対前年比二・一％マイナスによる予算計上をいたしたところであります。

またこの財源については、公費負担割合の段階的引上げ



が平成十八年度で終了することを考慮し収支の均衡を図ったところであります。

平成十七年介護保険法の改正に伴う用語の見直しにより昨年の九月に名称を改めました。

今後利用者への尊厳を守り家庭的で安定した環境を保ちながら、利用者へのサービスの向上を目指し施設の健全運営に努めてまいります。

公共下水道事業会計

下水道は、平成二年の供用開始以来、地域住民のご理解のもと、快適で文化的な生活の実現に大きく寄与してきたところであります。しかしながら供用後、既に十六年が経過し、浄化センターの機器の老朽化が進んでいることから、今後時代に対応した効率的で安定的な維持管理を行うため、浄化センターの改築更新事業に着手することとしております。

また、個別排水処理施設につきましては、平成一七年度末で一八基の設置を終えたところですが、引き続き農村地域の住環境改善のため、地域住民に必要性をご理解いただき普及促進に努めてまいります。



こととして、八基分の所要額を予算計上いたしてまいります。

また、再生プランでもご報告申し上げましたが、四月から下水道使用料及び個別排水処理施設使用料を改定いたしました。関連条例の改正を提案いたしております。

水道事業会計

水道事業は、住民生活を支える重要なライフラインとして、「安全」で「安定的」な水道水の供給を目標に、更なる有収率の向上に努め、徹底した経費の節減を図りながら安

定的な経営に努めてまいります。

また、漏水対策として計画的に老朽管の改修を進めておりますが、今年度は、峠下沼田線外四路線の配水管改修工事及び他事業関連に伴う受託工事として達布石狩沼田停車場線外二件の移設工事費用を予算計上いたしております。

なお、水道料金については、平成十八年四月から実施される企業団の料金改定を踏まえ、本町における料金収入の推移及び他町村の動向等、総合的に検討を進めてまいりましたが、当面、料金改定を行わず現行料金を据え置くこととしております。





「生きる力」を 育む教育の推進



平成18年度教育行政執行方針
沼田町教育長 松田 剛
Katashi Matsuda

さて今日、教育を取り巻く環境は少子高齢化の急激な進行や国際化、情報化等の激甚な進展、さらに地球規模での環境問題の顕在化等、社会の急激な変化に伴い、あらゆる社会システムの基盤であります教育についても「確かな学力」「豊かな心」「健やかでたくましい心身」等『生きる力』が必要不可欠と言われている今日であります。

加えて、家庭にあつては、

少子化・核家族化が進み、又子どもたちの取巻く環境の変化は著しく、今一度家庭・学校・地域社会が一丸となり、『沼田っ子』を育てることが肝要であると考えております。

「生きる力」を育む教育の推進

今年度は、前年度に引き続き『あいさつ運動』の励行と更に「読書」の推奨に力点を置きつつ、人間形成の基盤を培う幼稚園教育の充実、多彩な資質や能力を引き出す小学校教育の充実、主体性、創造性を伸ばす中学校教育の充実を図るべく幼・小・中及び家庭（保護者）、地域社会が更なる連携を密にしていくな生涯教育を推進してまいります。

学校教育の推進 「生きる力」を育む教育の推進

「確かな学力」「豊かな心」「健やかでたくましい心身」の育成には学校は日頃から保護者や地域社会から信頼され、児童生徒を安心して託せる学校づくりに努めなければなりません。

そのためには、優れた資質と能力を有する教職員の養成は不可欠であり、又教職員自らも使命を自覚し、常に緊張感を持って自己の資質向上のため研鑽を積むことが非常に大切であり、そのためには広い視野と指導力・専門性を高める研修活動の充実を図ることが大切であります。

又児童生徒の安全確保についてであります、昨今子どもを巻き込む悲惨な事件が相変わらず起きている現状を踏まえ、地域社会はもとより警察及び関係機関・団体と緊密な連携のもとに、非行や犯罪被害の未然防止を図っていくことが肝要であります。

その一環として「沼田つ子サポーター」の活動推進及び運動の輪の拡大を図っていきます。

幼稚園・学校教育

沼田町生涯教育目標

- 一 ひろい心、すこやかな体で豊かな生活を創るひと
- 一 自ら学ぶ意欲と社会変化



に主体的に対応できるひと
一 豊かな個性をもち自律的に行動できるひと
一 国際的視野に立ち新しい文化の創造に努めるひと

以上の目標に沿って幼・小・中、更に沼田高校との連携を強化継続し、幼稚園教育及び学校教育を推進してまいります。

沼田幼稚園

「友だちと生き生きと活動し、育ちあう子」を教育目標に掲げて園長の管理指導のもと教諭と一丸となり、健康で明るい子、仲良く遊ぶ子、美しい心の子、力いっぱいがんばる子

ばる子を保育活動の重点に置いた運営に努めてまいります。

園児が自分の内面を表現でき、知的好奇心や学びの精神を触発し、心の発達やことばの表現力、自立する生き方を保育の方針にすえ、併せて教員の資質向上を図る研修を行いますので、保護者を始め地域社会のご理解とご協力をお願い申し上げます。

「意欲を持って進んで学習する子ども」「豊かな心で互いに助け合う子ども」「強くとくましくやりぬく子ども」を教育目標に掲げ、一人ひとりのニーズに応じた教育、チーム・ティーチングによる授業、ゆとりある授業時間数の確保、地域の素材の活用、道徳教育の充実を図る等、父母が参加し地域に根ざし、地域に開かれた学校、安心して学べる学校を目指して運営してまいります。

沼田小学校

「意欲を持って進んで学習する子ども」「豊かな心で互いに助け合う子ども」「強くとくましくやりぬく子ども」を教育目標に掲げ、一人ひとりのニーズに応じた教育、チーム・ティーチングによる授業、ゆとりある授業時間数の確保、地域の素材の活用、道徳教育の充実を図る等、父母が参加し地域に根ざし、地域に開かれた学校、安心して学べる学校を目指して運営してまいります。

を行い、確かな経営方針を立て、特色ある学校を目指すべく、校長の強力な指導のもと教職員が一丸となり推進してまいりますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年始めて導入いたしました小学校の臨時補助教員の配置につきましては、本年も引き続き低学年を中心に国語と算数のチーム・ティーチングを充実し、基礎的・基本的な生活習慣の定着を図ってまいります。

沼田中学校

基礎基本を重視した分かる授業の推進、意欲向上につながる評価の工夫、少人数指導やチーム・ティーチングによる指導など、指導方法の改善と工夫に努める運営をしてまいります。

本年は特に父母との連携による家庭学習の充実、環境整備等を行い、父母が参加し、地域から信頼され、授業や行事等の諸教育活動を積極的に公開し、より開かれた学校を目指するため、校長の強力な指導

導のもと、教職員が一丸となり中学校教育を推進してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

。学級編制について

平成十八年度当初における小・中学校及び幼稚園の学級編制は次のとおりであります。

()内は特殊学級内数

区分	平成 1 8 年度当初			平成 1 7 年度当初		
	児童生徒数	学級数	教職員数	児童生徒数	学級数	教職員数
小学校	184(6)	9(3)	18	185(6)	9(3)	17
中学校	106(2)	5(2)	16	115(2)	6(2)	15
幼稚園	27	2	3	34	2	3
計	317(8)	16(5)	37	334(8)	17(5)	35

。学校施設整備について
学校の施設整備につきまして、小学校の屋根及び二重窓



への一部改修、又中学校につきましては、グラウンドの一部改修工事を予定し、これに要する予算を計上いたしております。

今後におきまして、財政が厳しい状況下ですが、関係各位のご理解のもと、計画的に施設の整備充実に努めてまいります。

また、学校に不審者が侵入した場合の防犯対策の一環として「さすまた」を幼稚園、小学校、中学校に各二本ずつ配置いたします。

幼・小・中・高 一貫連携教育

沼田町一貫教育推進協議会を平成八年に設置して十年が経過しようとしています。

今一度設置目的であります、教育行政及び学校、園間の相互連携、総合調整を図るため原点に戻り、幼・小・中・高の教職員の日常の交流をさらに推進し、それぞれが研修実践を深め、一歩前進した連携教育を取り進めてまいります。

特別支援教育について

従来の特殊教育対象の障害（知的・情緒・肢体不自由・病弱・身体虚弱・視覚・聴覚・言語）だけでなく、学習障害（LD）、注意欠陥/多動性障害（ADHD）、高機能自閉症を含めて障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けて一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために適切な教育や指導を通じて必要

な支援を行う体制を整備すべく学校及び関係機関等と十分な協議をしております。

沼田高校への支援

前段で述べましたように、大変厳しい現況下にあります。が、高校と十分連携を図りつつ、「沼田高校教育振興協議会」を軸として支援してまいりますので、町民各位の特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。



社会教育について

少子高齢化が進む現状を充分踏まえた中で、町民の価値観の多様化、高度化したニーズに因應するとともに、潤いのある生活を創出する社会教育の推進が必要であると考えております。

このため、社会教育施設として各地域が持つ教育機能を活性化し、多種多様な学習機会の拡充を図るとともに、学習情報の提供や学習環境の整備を図りながら、自らの啓発に努める社会教育の推進を図る中で、前年度より奨励してまいります「あいさつ運動」の輪をさらに広げてまいります。

さらに今年度は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものに、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことの出来ない「読書」を子どもから高齢者まで町民各層に奨励推進してまいります。

生涯学習センター （ゆめつくる）について

開館五年目を迎え、生涯学習の拠点として多くの町民の皆様にご利用いただいておりますが、さらに施設の環境整備の充実を図り、いつでも気軽に利用し、又集う場所として運営してまいります。

図書館の充実

読書を奨励する観点から、子どもから高齢者まで町民の一人でも多くの方々に図書館を利用していただく機会の拡充に努めてまいります。

又貸出し冊数増加に向け、蔵書の充実は勿論のことです。ありますが、子どもから読書に親しむ機会を提供している「おはなしキャラバン」の輪を広げ、さらに移動図書等を活発化させ読書に親しむ機会の拡大に努めてまいります。

芸術文化について



多くの町民が芸術文化に親しむとともに、潤いをもたらす中で活動の輪が広がりをもち、発表や鑑賞の機会を広げ、発表や鑑賞の機会を広げるべく推進してまいります。

このため「町民芸術祭」が町民が挙って参加いただけるよう文化連盟と協力してまいります。

又、「子ども文化劇場」「芸術文化鑑賞会」の充実や文化



団体の育成及び指定文化財の
良好な保存に努めてまいりま
す。

家庭教育の一環として親子ふれあい事業の中で「ゆめつくるキッズクラブ」のさらなる充実を図り、参加親子の増員を図ります。

青少年教育では自然体験キャンプ、合宿通学を継続実施し、さらに四回目を迎える女性フェスタの輪の拡大、内容の充実を図ってまいります。

高齡者の生きがいづくりの一貫としてのいきいき大学の内容等に今一度検討を加え、高齡者のニーズの多様化を精査しいきいき大学の運営をしてまいります。

化石館について

学芸員を中心に化石館を始めとした展示活動の継続はもちろんでありますが、一人でも多くの人に学術的に貴重な化石類を身近に親しんでもらうための事業の実施を推進してまいります。

又、化石体験学習指導の受入れを積極的に進め、学習と観光をミックスした事業を実施すべく関係機関と連携し、体験学習誘致に向けた「化石のまち沼田」のPR発信に力を注いでまいります。

社会体育について

町民一人ひとりがよりよく
生きるため、「いつでも」「ど
こでも」「だれでも」の合言
葉で、心身ともに健康で活力
あふれる豊かな生活を営むこ
とは「心の豊かさを育む」基
本であります。

今、一度昭和六十年に制定
いたしました、「スポーツの
町」宣言

一、ひとりひとりがスポーツに親しみ、健康なからだをつ

くりましよう。

二、みんなで力を合わせて、スポーツを楽しむ機会をつくりましょう。

三、スポーツをとおして手をつなぎ、明るい豊かな町をつくりましょう。

を顧みて、町民が拳つて親しむことが出来るよう今一度、体育協会をはじめ各種スポーツ団体・サークルと協働して、社会体育振興と地域連帯感の高揚を図ってまいります。

併せて、民間有志指導者のために健康の輪を広げるために体育指導委員を中心にスポーツの町を推進してまいります。

毎年開催して全町民に馴染み親しんでいます、夏の一大イベントの一つである町民体育祭も三十三回目を迎えますので、町民各位並びに関係団体の深いご理解、ご協力の上開催いたします。

又、スポーツ教室の開催
おはようラジオ体操会、ナイ
ターソフトボール大会、明日
萌ウオーク等の参加の輪を広
げるとともに、あわせて社会
体育施設の環境整備を図って

まいります。

以上、平成十八年度の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

なお、教育予算につきましては、大変厳しい財政の下であります

一億六千二百六十七万を計上
いたしたところであります。

教育委員会といたしましては、町民憲章の中にあります「未来をきずく子供を愛し、楽しい家庭をつくりましょう

う」「文化をたかめ豊かな郷土をつくりましよう」を心の糧にして、地域ぐるみで沼田っ子から高齢者まで夢と希望をもって安心して生活のできるよう「町民と協働」で生涯学習のまちづくりの実現に努力してまいります。

町民の皆様、議員各位のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

沼田町の台所

〔平成18年度予算〕

一般会計

四十五億五千万円

一般会計・特別会計

総額六十八億四千万円

協働のまちづくり

・まちづくり基本条例策定

国営かんがい排水事業雨竜川負担金償還

■歳入

科目	H18予算額	H17予算額	比較
町税	289,913	312,794	▲ 22,881
交付金・譲与税	192,300	175,300	▲ 17,000
地方交付税	1,930,000	2,010,000	▲ 80,000
分担金・負担金	57,901	58,524	▲ 623
使用料・手数料	107,473	573,446	▲ 465,973
国・道支出金	383,861	515,857	▲ 131,996
財産収入	124,240	107,952	▲ 16,288
繰入金	455,980	248,539	▲ 207,441
町債	775,700	288,700	▲ 487,000
その他	232,632	208,888	▲ 23,744
歳入合計	4,550,000	4,500,000	▲ 50,000

■歳出

科目	H18予算額	H17予算額	比較
議会費	46,593	47,846	▲ 1,253
総務費	435,730	734,556	▲ 298,826
民生費	480,944	500,129	▲ 19,185
衛生費	273,693	305,410	▲ 31,717
労働費	4,072	4,188	▲ 116
農林水産業費	1,089,356	549,891	▲ 539,465
商工費	73,983	73,346	▲ 637
土木費	415,301	474,621	▲ 59,320
消防費	141,075	146,680	▲ 5,605
教育費	162,677	217,901	▲ 55,224
公債費	736,633	720,169	▲ 16,464
職員費	636,799	651,684	▲ 14,885
その他	53,144	73,579	▲ 20,435
歳出合計	4,550,000	4,500,000	▲ 50,000

昨年、我が町再生プランがスタートし二年目を迎えた本年予算は、一般会計と特別会計を合わせて六十八億四千三百五十万五千円となり、前年度当初比一億一千七百三十一万円減、増減率はマイナス一七％となりました。これまで町民に説明をしてきた「我が町再生プラン」による効果です。

一般会計予算総額は四十五億五千万円で、十七年度の四十五億円に対して五千万円、一％増となりました。今年度は国営かんがい排水事業雨竜川中央地区負担金の償還金により増額となっており、ます。減額要素をみると人件費が三千四百九十九万円、事業負担費七千七百七十八万円、指定管理者制度による温泉管理運営委託経費が三億五千七百十万円です。

歳入は、町税が評価替えなどのため二億八千九百九十一万円、地方交付税は十九億三千万円で、八千万円の減となっております。基金は収支均衡のため財政調整基金に一億五千万円、特定目的基金三億五千九十八万円など合計四億六千二百八十八万円を繰り入れることとしています。これにより、十八年度末の基金残高見込み

は十八億七千七十一万円となる予定です。

十八年度の主な事業としてはスコレセンター大規模改修で白樺館の客室の改修や岩盤浴の設置工事、マッサージルームの設置など一億三千万円を計上しています。

供用開始から十六年が経過した浄化センターも改修工事費五億円を見込んでいます。

農業関係では、国営かんがい排水事業雨竜川中央地区負担金で六億三千六百二十七万円と併せて農家負担軽減対策で三千三百五十万円を計上しています。

観光面では、萌の丘整備事業などに八百万円、地域医療関係では厚生病院の電子内視鏡システム一式二千九十四万円などを計上しています。

このほか、本町最大のイベント夜高あんどん祭りが三十七周年を迎えることから三百万円、冬のイベント百万円を計上しています。

また、まちづくり基本条例が三月議会で制定され、町民と行政が一体となって協働のまちづくりに向け、まちづくり推進会議の設置など、厳しい予算ながら工夫した中身の濃い編成となっています。

平成 1 8 年度 主要施策要覧

～ 町民と協働で進めるまちづくり～

豊かで潤いのある農業の振興について

農業実習生受入事業

事業経費 350万円

- ・都市住民との各種交流事業を通じて農業、農村の活性化を図るため、道外から、農業や農村に興味をもつ独身の女性を受け入れます。
- ・農作業体験研修や地元農業者と交流を通して農業、農村の素晴らしさを実感させ、地域の理解者となっていただくことを目的としています。(町・農協・中山間連携事業)



農業振興課 農業振興グループ
35 - 2114

土づくり推進事業

事業経費 150万円

- ・農業の基本である土づくりを推進し、病害虫に強い安定した農産物の生産を推進します。
- ・牛糞堆肥(畜産農家連携)運搬費の助成(町・農協・中山間連携事業)



農業振興課 農業振興グループ
35 - 2114

沼田町農業まつり事業

事業経費 30万円

- ・地場産農畜産物のPRと消費拡大、地域のイメージに相応しい新たな食文化の創造、愛食運動の推進を目的とした農業イベントを開催し、活力ある沼田農業の構築を図ります。(町・農協・中山間連携事業)



農業振興課 農業振興グループ
35 - 2114

農業生産組織育成支援事業

事業経費 300万円

- ・低コスト化による農業経営の安定化と地域農業の新しいシステムを形成するため、水稻の収穫乾燥調整作業又は畑作物の播種・定植・収穫の協業化に伴いこれら作業に必要な機械の導入に要する経費及び、法人組織の設立経費を助成します。(町・農協連携事業)
- ・補助対象：2戸以上の農家で構成する組織
- ・対象経費：協業化により発生する機械整備費・法人設立に要する経費
- ・補助率：1/2以内

農業振興課 農業振興グループ
35 - 2114

農産物PR販売事業

事業経費 100万円

- ・新規振興作物の作付けに対し経費の一部を助成します。
- ・補助率：1/2以内、50万円限度

農業振興課 農業振興グループ
35 - 2114

農地流動円滑化推進事業

事業経費 897万円

- ・売買による農地流動化を円滑に進めるため、公社事業及び制度資金を活用した場合支援いたします。

農業振興課 農業振興グループ
35 - 2114

活 力 に 満 ち た 商 工 ・ 観 光 に つ い て

ほろしん温泉白樺館大規模改修

事業経費 13,000万円

- ・ほろしん温泉利用者のニーズに対応するため、今話題の岩盤浴室の設置やマッサージルームの設置など癒しの空間充実させる他、客室の改修など、白樺館の大規模改修を18年、19年度の2ヵ年で行います。

総務課 総務グループ
35 - 2111

夜高あんどん祭り30周年記念事業

事業経費 300万円

- ・夜高あんどん祭りも本年で30回目を迎え、更なる本町の観光資源として町内外にPRしていきます。本年は三大あんどんサミットの開催や札幌で開催される「日本のまつり」にも出演を予定しています。



地域開発課 商工観光グループ
35 - 2112

萌の丘整備事業

事業経費 800万円

- ・夏期の観光資源である萌の丘の土壌改良促進し、既存のルピナス畑との調和を図りながら一年草を植栽し、美しい景観を保ちます。



建設課 技術グループ
35 - 2116

TMO運営費支援

事業経費 620万円

- ・沼田町TMOに活動運営補助金を交付します。

地域開発課 TMO推進室
35 - 2112

21世紀ふるさと活性化支援事業

事業経費 200万円

- ・地域や産業の活性化を目指した新たな取組みに対し、補助金を交付します。

[地域の活性化に関する事業]

- ・イベント開催に関する事業
- ・人材育成に関する事業
- ・伝統、文化の保存に関する事業
- ・その他地域の活性化に資すると町長が特に認めた事業

[産業の活性化に関する事業]

- ・商品等開発に関する事業
- ・起業、創業に関する事業
- ・販路開拓に関する事業
- ・経営の高度化に関する事業

地域開発課 企画政策グループ
35 - 2112

駅前再開発事業の推進

事業経費 80万円

- ・駅前を通る道道の改良事業が着手された事に伴い、この工事に併せて駅前広場の整備を進めます。
- ・用地確定測量・登記
- ・用地購入

地域開発課 企画政策グループ
35 - 2112

ふるさとクーポン券発行助成

事業経費 1,000万円

- ・地元での消費拡大を目標に、商工会が行うプレミアムクーポン券事業に対し、今年も引き続き助成を行います。



地域開発課 商工観光グループ
35 - 2112

明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い

事業経費 60万円

- ・毎年全道各地より約500名の参加者が集まり盛大に開催されています。当日は多数のボランティアにより運営され、まさに沼田町を代表するイベントの一つです。今年度も実行委員会に対し補助金を交付します。



地域開発課 商工観光グループ
35 - 2112

明日萌の里フォトコンテスト事業

事業経費 50万円

- ・毎年全道各地より150を超える作品が寄せられ、ファンの間にもすっかり定着しました。実施主体である観光協会に対し、今年度も補助金を交付します。



地域開発課 商工観光グループ
35 - 2112

明日萌街道景観保存ボランティア事業

事業経費 16万円

- ・明日萌街道景観保存会による、恵比島から幌新温泉の道路沿いに植えられている、1,300本の街路樹の冬囲い作業を支援します。



建設課 技術グループ
35 - 2116

冬季イベント（冬のほたる）の開催

事業経費 100万円

- ・一昨年初めて実施したところですが、今年度においてもその経験を踏まえ、「雪と共生するまち」に相応しい冬季イベントとして発展するよう、引き続き実行委員会に対し補助をします。



地域開発課 商工観光グループ
35 - 2112

やさしさに満ちた地域づくりについて

住環境整備費助成事業

事業経費 160万円

- ・ 目的：介護を要する高齢者・障害者の自立支援や介護負担軽減を目的として行う住宅改修に対して、助成金を交付します。
- ・ 助成内容：対象事業に要する経費の1/2（80万円限度額）



住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

高齢者世帯等除雪費助成事業

事業経費 90万円

- ・ 12月1日に居住している、高齢者等の世帯（生活形態上）のうち玄関前の除雪に関し冬期間を通じ業者委託している世帯へ除雪費用の一部を助成します。対象世帯は町民税非課税の世帯のうち、次のいずれかに該当する世帯です。
70歳以上の独居世帯
世帯主が70歳以上、同居親族が65歳以上で構成されている世帯
- ・ 助成内容：支給額は委託業者・個人等へ支払った額の2分の1の現金を支給。（但し20,000円を限度）

住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

軽度生活援助事業

事業経費 273万円

- ・ 在宅の高齢者等で、自力での作業が困難と認められる方が、安心して自宅で暮らせるように日常生活の支援をします。
- ・ 除雪サービス事業
冬期間の生活道路の出入口を確保します。
利用者負担：2,000円 / シーズン
- ・ 草刈り等軽易作業援助事業
月1回1時間を限度に自宅周りの手入れの援助を行います。
利用者負担：90円 / 月1回

住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

地域子育て支援センター運営委託

事業経費 261万円

- ・ 少子化、核家族化などにより地域（近所）に育児に関する不安を相談したり、近所に一緒に遊ぶ子どもがいないなど様々な不安や悩みをもつ保護者の窓口となる地域子育て支援センターを沼田保育園に委託して開設しています。

住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

一時保育事業委託

事業経費 210万円

- ・ 専業主婦家庭等の育児疲れ解消や、保護者の急病など一時的な保育需要に対応するために、週3日、月14日以内の範囲で沼田保育園に委託して、保育を実施しています。



住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

在宅介護サービス利用奨励手当支給事業

事業経費 48万円

- ・ 介護保険要介護認定の3～5の判定を受け、毎月1種類以上の居宅サービスを利用した方に月額5,000円を支給します。（但し、施設入所者、グループホーム等入所者は対象外です。）



住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

沼田厚生病院運営費補助

事業経費 700万円

- ・地域の医療機関として、町民の健康を守る「沼田厚生病院」の運営を助成します。



住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

生活習慣病予防事業

事業経費 1,540万円

- ・増え続ける生活習慣病（内臓脂肪症候群）の発症若しくは重症化を住民自ら予防できるよう生活習慣改善への支援を保健師・栄養士が行います。
- ・内容：健康相談、健康教育、健康診査（総合健診、女性の日総合健診、子宮・乳がん検診）訪問指導など。
- ・時期：詳細は広報等でお知らせします。

住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

幼児インフルエンザ予防接種助成事業

事業経費 28万円

- ・感染しやすい幼児期の子供たちのインフルエンザ罹患を予防するため、接種料金の助成を行います。
- ・内容：2回接種の内、1回目分を助成（詳細は秋頃お知らせします）



住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

外出支援サービス事業

事業経費 55万円

- ・住民税非課税世帯の高齢者の居宅と医療機関間の定期的な移送を確保し高齢者の自立と生活の質の確保や介護者の負担軽減をし、在宅福祉の向上をはかります。
- ・利用対象者
要介護認定で「要介護2」以上の方と介護者1名まで
要介護認定を受けていない方で介護認定ソフトで「要介護2」以上の結果が出る方で地域ケア会議で必要と判断される方と介護者1名まで
- ・利用内容：医療機関への定期的な通院で片道30km以内
- ・利用回数：月に1往復分まで（翌月繰越しは不可）
- ・利用負担金：全費用（ハイヤー代）の1割の額（3ヵ月毎に町へ納付いただきます）



住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

生きがいデイサービス事業

事業経費 262万円

- ・介護認定審査会にて、「自立」と判定を受けた高齢者を対象に要介護状態への進行を予防するため、生活指導・日常動作訓練・その他のサービスを提供します。（社会福祉協議会への委託事業）
- ・利用者負担：240円/回 + 食材費450円/回



住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

沼田厚生病院医療機器整備費補助

事業経費 2,094万円

- ・沼田厚生病院の施設のうち、電子内視鏡・X線造影撮影装置の整備に必要な費用に対して助成をします。

住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

認可保育所保育料の支援

事業経費 389万円

- ・保育に欠ける児童の保護者を経済的に支援するために、国の基準保育料に対して30%分を町が負担して保育料を減額します。



住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

母子保健サービス事業

事業経費 166万円

- ・未来の担い手である子供やその親たちが、心身共に健やかに過ごせるよう、保健師・栄養士を中心に、多岐にわたって支援をします。
- ・内容：妊婦・乳幼児健診、マタニティクラブ、すくすく教室、歯科健診・フッ素塗布、ことばの発達検査・学童食育事業など



住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

子育て支援対策費

事業経費 92万円

- ・就学前の6歳までの乳幼児を対象に受給負担額（総医療費の1割）または、初診時一部負担金を助成（現金給付）します。



住民生活課 総合窓口グループ
35 - 2115

ファミリーサポートセンター事業

事業経費 6万円

- ・子供を持つ家庭を地域で支援することを目的に、育児の援助を受けたい方（お願い会員）援助を行いたい方（まかせて会員）を登録し援助活動を行います。運営は地域子育て支援センターで行います。



住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2115

生活管理指導員派遣事業

事業経費 104万円

- ・介護保険認定審査会にて、「自立」と判定を受けた方を対象に要介護状態への進行を予防するため、生活管理指導員（ホームヘルパー）の派遣をします。（社会福祉協議会への委託事業）
- ・利用料：1時間あたり402円

住民生活課 健康福祉グループ
35 - 2120

住みやすい快適な環境づくりについて

町道除排雪対策

事業経費 4,311万円

- ・町道除排雪作業を充実させ、冬季間の安全な交通を確保いたします。



建設課 技術グループ
35-2116

ハザードマップ作成事業

事業経費 20万円

- ・地震や台風などの災害時に備え、緊急避難場所などを掲載した防災対策として、ハザードマップを作成し町民の安全確保を図っていきます。

総務課 総務グループ
35-2111

交通安全事業

事業経費 3,500万円

- ・旭町公園線は現在の歩道は幅員も狭く、子供たちや地域の方々の安全を図ることから本年度と来年度の2カ年で歩道拡幅工事を行います。工事期間中は地域みなさんにご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。



建設課 技術グループ
35-2116

口美葉牛幹線（凍雪害防止）事業

事業経費 8,100万円

- ・町道口美葉牛幹線は、西部地区と市街地区を結ぶ重要な幹線道路であります。工事は本年で終了いたしますが、工事期間中は地域みなさんにご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

建設課 技術グループ
35-2116

定住促進奨励金交付事業

事業経費 700万円（最終年度）

- ・活力と潤いのある誰もが定住を希望するまちづくりを目指すための奨励制度です。定住人口の確保や増加を図るために実施します。
- （助成の概要）
- ・持ち家住宅取得等奨励事業
町民又は定住する意思のある町外の方が町内に新築又は購入した場合奨励金を交付します。（最高で250万円を交付）
新築住宅基本額
50万円...新築住宅を購入した場合
新築住宅上積額
70万円...町内業者を利用し新築した場合。
融雪溝沿線上積
100万円...中心市街地の融雪溝整備沿線に住宅を新築した場合。
住宅用地取得
30万円...用地購入後1年以内に住宅を新築した場合。
中古住宅取得
50万円...中古住宅を購入し町外から転入した場合。
- ・融雪施設設置奨励金
町民自ら居住する住宅の敷地内に新たな融雪施設を設置又は既存の融雪施設を改修した場合、費用の2分の1以内（1件につき20万円を限度）の奨励金を交付します。（但し、改修の場合は20万円以上の経費を要した場合に限ります。）



地域開発課 企画政策グループ
35-2112

移住促進事業

事業経費 138万円

- ・団塊の世代が来年退職を迎えるにあたり、移住のためのPR活動やハンドブックの作成し、定住に向けた取り組みを進めます。
- ・移住ハンドブックの作成
- ・PRチラシ作成
- ・受入体制の調査委託・移住促進ホームページの立上げ

地域開発課 企画政策グループ
35-2112

個別排水処理施設整備事業

事業経費 1,100万円

- ・個別排水処理施設（合併処理浄化槽）は農村地区のし尿や生活排水を処理する設備です。
- ・平成18年度は8基の設置予定しています。

建設課 技術グループ
35-2116

道道峠下沼田線配水管改修工事（事業）

事業経費 3,500万円

- ・北竜地区五力山交差点から恵比島方面に向かう道道峠下沼田線に敷設されている水道管約1,500mを2ヵ年で改修工事を行います。期間中一部の地域で断水になるなどご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願いします。



建設課 技術グループ
35-2116

西町公営住宅屋根塗装事業

事業経費 1,700万円

- ・町民が安全に安心して暮らせるよう、西町公営住宅4棟の屋根の塗装を行います。（6月塗装工事予定）



建設課 技術グループ
35-2116

沼田浄化センター改築更新事業

事業経費 51,100万円

- ・沼田浄化センターは市街地区のし尿や生活排水を処理する快適な生活環境づくりに欠かせない重要な施設です。施設の老朽化に伴い、平成18年から22年までの5ヵ年で改築更新を行い、今後も快適な生活環境の維持を図ります。



建設課 技術グループ
35-2116

下水道（個別排水施設）使用料金の改定 改定料金（平成18年4月分から）

基本料金（10 ） 1,880円
超過料金（ 1 ） 220円

- ・平成13年7月から基本料金1,680円、超過料金199円で運営してきましたが、維持管理経費等の増加や人口減少による料金収入の減少により、今後収支赤字が見込まれることから、平成18年4月分から料金の値上げします。

建設課 技術グループ
35-2116

21世紀に生きる人づくりについて

小学校学力向上補助教諭配置

事業経費 227万円

- ・小学生の学力向上を目的とし、きめ細やかな指導を行うため補助教員を配置します。



教育委員会
35-2132

沼田高校臨時講師の配置

事業経費 227万円

- ・沼田高校の進学率向上、学力を支援することを目的に臨時講師を配置します。



教育委員会
35-2132

はばたく沼田っ子支援事業

事業経費 200万円

- ・子供達の学習や生活環境、子育て環境等の充実を図ることによって、心身の健全な成長を促し、社会性豊かな“沼田っ子”を育みます。
- ・事業は町内の団体やグループから募った提案を事業審査会で審議し、決定します。

[対象事業]

- ・学習活動の充実に関する事業
- ・スポーツ等課外活動の充実に関する事業
- ・子育て環境の充実に関する事業
- ・児童の福祉や健康づくりの充実に関する事業
- ・その他当事業の目的に沿うと判断される事業

地域開発課 企画政策グループ
35-2112

カナダポーターハーディ派遣事業

事業経費 270万円

- ・本町姉妹都市である、カナダポーターハーディへ中学生・高校生及び一般町民を派遣し国際的視野の向上と沼田町とポーターハーディ地区の友好と親善による交流促進を目的に実施します。
- ・派遣時期
9月下旬～10月上旬（予定）
- ・派遣人数
10名（予定）



総務課 広報情報グループ
35-2111

町民と協働で進めるまちづくり

協働のまちづくり推進委員会の設置

事業経費 10万円

- ・まちづくり基本条例制定後の、協働によるまちづくりと住民自治の実現に向けた方策を検討する「協働のまちづくり推進委員会」設置することとしています。



地域開発課 企画政策グループ
35-2112

自治振興協議会の活動支援

事業経費 19万円

- ・町民・団体・行政等がそれぞれの役割を分担し合い、一体となってまちづくりを推進できる体制の整備や、主体的にまちづくりに取り組む町民の育成など住民活動の支援を行います。



総務課 総務グループ
35-2111



広聴活動

愛菜ママとの懇談会

女性パワー〜これからの農業・地域がどうあるべきか〜

米の価格低迷が依然として続き、水稻農業を中心とする沼田農業は大幅な所得減収を余儀なくされています。しかし農家経済が極めて厳しい中で、今農家女性たちが元気の活動を繰り広げています。

水稻に依存することなく、そ菜や畑作物、花などといったの新鮮で安全で安心な農作物を消費者に届けたり、加工によって付加価値をつけて販売したりと女性ならではの柔軟な発想で、地場産品を消費者に「買ってもらう、食べてもらう、また来てもらう」と努力を惜しまなく費やしています。

今回は、販売グループとして十周年を迎えた、愛菜ママのこれまでの歩みやこれからの抱負などについて語っていただきますので紹介いたします。

広聴活動 愛菜ママとの懇談会

出席者



愛菜ママ
植木 千鶴



愛菜ママ
土田 豊子



愛菜ママ代表
堀 直美



懇談会座長
西田町長



愛菜ママ
田坂 智恵美



愛菜ママ
中村 富美子



愛菜ママ
岡田 久恵



愛菜ママ
中村 雪江

（町長）今日は愛菜ママが十年を迎えたということで懇談会を開催させていただきました。町民の皆さんに愛菜ママがどのような活動をしているか知っていただくことはもちろん、未来に向けての明るい話題を提供していただきたいと思います。

まず、愛菜ママ十年の歴史やあゆみを聞いた後で、それぞれ聞いていきたいと思っています。

（愛菜ママ）平成八年に普及センターで行っている生活設計ゼミナールの一期生と二期生を募集していて、その参加者に現在の愛菜ママのメンバーがいました。四年間の活動を終了するときに家に閉じこもる生活に戻りたくなかったのが女性の活動ができればと思い始め、主人が特裁米の関係で札幌消費者協会とつながりがあったので交流を深めていく中で野菜を始めるきっかけになり、町から助成をいただいたことで活動が始まりました。

活動聴聞

（町長）会員は何名いらっしやるのでしょうか。

（愛菜ママ） 今回のメンバーで全員です。当初は西部の人たちも含め十人いましたが、家庭の事情などもあり東部の人が残り七人になりました。

（町長）一緒に十年間活動をしてきて、自分なりに思っている感想などがあればお聞かせ下さい。

（中村雪江）最初は何をしたら良いのか分からないところから始まりました。水田を主にしているので野菜との両立は難しかったです。メンバーでお互いにお米を優先させてくれているので十年やってこられたのかなと思います。

（田坂）十年前は自分も若く子供も小さかったので家の事もままならない中で出られる範囲で参加していました。活動してきて一番勉強になったのは、消費者協会の方々と知り合うことができて色々な意見を聞けたことや、町の人が

求めるものなどを知ることができ農業全体へ関心があることを深く感じられたことです。

（土田）ゼミナールに参加して、それまで自宅の農家の仕事しかしていなかったのに対して、愛菜ママでは自分たちが作ったものを食べる人の顔が見えて喜んでくれるのが嬉しかったですし、すごく良かったなと思いました。

（植木）野菜を作って顔が見える方に提供するのも良かったのですが、愛菜ママの名前の下で一緒に集まれる友人ができたのが良かったと思います。消費者の皆さんが本当に沼田のことを良く思ってくれて応援してくれることもありがたいと思います。

（中村富美子）お互いに理解しあえる仲間ができたのが良かったと思います。皆大変な思いをしながら頑張っているのを見て、又頑張ろうという気持ちになりました。町から援助をいただき、始められた活動でもありますし、今後

続けていきたいと思っています。

（岡田）交流の大変さと野菜作りの大変さを感じています。メンバーが少ないだけに、出ることが多く年間五十日近く参加しているので、家族の協力がありがたいと思います。

（町長）年間五十日の主な活動は、どのようなものがあるのでしょうか。

（愛菜ママ）発送の準備や事務的な集まりだけで五十日くらいになります。宅配でもらったときに何か入っていれば嬉しいと思います。手作りのおまけを入れていますが手作業で作るため時間がかかっています。初めは農業ならではのものと思いメロンの押し花などを作っていました。皆で集まって作るのも楽しいです。野菜を送る時とは別に一ヶ月交代でメンバー手書きの手紙のようなものも入れており沼田町のことや野菜の料理の仕方などそれぞれで書きたいことを書いています。



（町長）作るものは皆さんで分担しているのでしょうか。

（愛菜ママ）何かあった時のために分担して作っています。メロンは作れる人が限られていて他の作物については一軒が何かの被害でできなかった時のために集中させずに分担しています。

（町長）苦労されたところはありますか。

（愛菜ママ）最初の頃は、数が間に合うのが大変でした。数が取れても全部が商品にならないので、ようやく出していました。草取りなども手作業で行い、使っている農薬を打ち出しているのも農薬も控えています。家族で手伝っている家庭もあります。個々に任せているのでハードだと思っています。また、普及センターの方も電話すれば来てくれるので心強く安心しています。

（町長）皆さんは水田の面積も広いので大変だと思っていますが十年間の中で野菜やメロンの量は増えているのでしょうか。

（愛菜ママ）そんなに変わっていないと思います。ほとんど横ばいです。

（町長）発送先は札幌が多いのでしょうか。また、送る時はそれぞれで送っているのでしょうか。

（愛菜ママ）送る先は札幌が多いですね。皆で一緒になって持ち寄って送っています。



(町長) よつぽ仲間意識が強いというか、気の合う人でなければできなさそうですね。

(愛菜ママ) あとは無理をしないということですね。出られない時は他のメンバーにお願いしていますので、お互いに理解しています。子供も大体似ていますし経営の内容も似ているので、皆同じ立場です。今日は出られないとなれば周りが何とかするから大丈夫といった感じですね。だから続けられますね。

(町長) 直売などはやっていないのでしょうか。

(愛菜ママ) 愛菜ママ自体では直売所はないのです。特裁米のお米にパンフレットを入れたり、ロコミで広げたり、パンフレットをほたる館に置かせてもらったり、東京沼田会へ注文書を送ったりしています。

(町長) 売ったお金はどうなっているのでしょうか。

(愛菜ママ) 出してもらった野菜や原材料にかかった費用を払い、経費を払った残りを一部積み立てて、残りは日当にして年で清算しています。最初は一日の日当が三〇〇円でしたが、今は時給二五〇円くらいです。がむしゃらに集まっていた最初の年に比べて、今は家でできることは家でやっているのもあると思います。それでも年五十日も会って、家族の様にいつも顔を合わせています。

(町長) 愛菜ママの集まりには、ご主人も支えてくれているんですね。

(愛菜ママ) 私の頼んだことは、してくれます。

(町長) 活動については自分たちだけで相談して、自分たちだけでできるといふことでですね。

(愛菜ママ) 「今日は愛菜の日」と言えば、メンバーが誰かも分かっているで出してくれます。もちろん忙しい時には休ませてもらっていますが。

(町長) 時期的に忙しい時は重なるのではないのでしょうか。



(愛菜ママ) 年中忙しいですが稲が多いので集まれるのかも知れないですね。花だつたら集まれないと思います。

(町長) 代表はどのようにして決めているのでしょうか。

(愛菜ママ) 毎年総会をして決めています。十年間堀さんがやっています。消費者の中で堀さんのファンがいるので変えられません。

(町長) 今後の課題や農協や行政に望むようなことはありますか。

(愛菜ママ) 消費者協会の活動の中で夏の体験交流があるのですが七人の中で回るのが大変です。相手が希望する民泊は、なかなかうまくできないので、ほたるの里キャンプ場で泊まってもらいました。皆忙しい中で夏場に集中して事業が来るので大変です。私たちの活動ですが沼田の活動ということも前面に出して、協力できる人には協力してもらえれば考えや流れが変わって良いのかなと思います。特

裁米の方の奥さんを誘ったりもするのですが、なかなか難しいようです。一緒にできる農家の人達がもう少しいれば雰囲気も変わって活性化できるのかなと思います。ボランティアのような形で、町内の農家ではない方で手伝つても良いと思える方に参加してもらえれば、町の人と交流する勉強になり新たな展開にもなつて良いと思います。

(町長) 会員を増やすつもりはないのでしょうか。

(愛菜ママ) あまり儲かる仕事ではないので気が引けます。また、農家情勢が厳しいのでなかなか誘いづらいです。今のところ、とりあえずはこのメンバーで活動していると思います。

(町長) 十年間やってみて反省する部分などはありませんか。

(愛菜ママ) 作る場所によって収量が変わり、昨年場合は干ばつで玉ねぎが前の年よりも少なかったので大変でし

広聴活動

た。農薬も登録されたものを使わないと周りに迷惑をかけるので気を付けています。野菜が数百円しか売れなかった時などは、何をしていたのだろうと思う時期もありました。最近はやつと収穫できるようになって雪の科学館を利用して芋や玉ねぎを入れています。そうすると昨年などは一年中自分の作ったものを食べることができたり芋なども入れておくと美味しくなるので仲間内にも勧めています。今は無料で入れることができますので、ありがたく思っています。多めに作ったときに八



本品ができますが残った野菜の加工ができれば無駄にならないで良いと思います。また、地元のを学校給食などで使ってもらえると新鮮なものを子供たちに食べさせてあげられて嬉しいと思います。

（町長）給食のお話は議会でも出ますが絶対量が足りないようです。

（愛菜ママ）科学館に入れておけば、すぐに取り出して使えて良いのかなと思います。

（町長）この次の時にでも給食センターと栄養士を交えて話し合いたいですね。

（愛菜ママ）加工したものを売れば少しずつ利益が上がるのかなと思うたのは、味噌を作り始めてからです。以前は漬物も考えていて農家には上手な方が多く、余った野菜なども使えるので良いと思ったのですが、施設がなければ販売できないので漬物を加工できる施設があれば良いのかなと思います。

（町長）加工場で漬物の許可はできないのでしょうか。

（矢野課長）不特定に販売する場合には、包装や殺菌など害のない商品にしなければなりません。加工場で漬物に使える設備があれば許可できると思います。ただし、加工場の管理規定の中で個人が使うことは難しいようです。

（愛菜ママ）野菜を作っている中で捨てる野菜が山のように出てしまい、まだ食べられるのに何とかならないものかと悩んでいます。自分の子供たちが家を出るようになって、親が作っている野菜を食べさせてあげたいと思うので、仕送りや単身パックみたいな、新しい企画ができないかなと考えています。

（町長）ハネ品をほたる館で売るのはどうでしょうか。

（堀）例えばメロンは、規制があるので直売所でも勝手に売れなくなっています。その他の野菜についても直売所をやっている方との関係もある





るので難しいです。パークゴルフ場でやっているのは公募しているので良いと思います。

（町長）絆の会は農家とうまく連携がとれていなかったようです。

（愛菜ママ）最初に集まったきり話し合いが無かったのと時期によって出せないものを急に言われて用意できないことがあったからです。何とか用意できた時も送った先の人は何を送られてきたのか分

らないらしくメッセージや葉書を先に送っていただけたと思うのですが、芋を放置して凍らせてしまったようで私に問い合わせがきました。きちんと管理できない時期に送っても相手が困るしクレームが来たときも対応できないので難しかったです。対消費者に慣れていなかったと思いますし、もっと話し合いをした方が良いと思いました。

（町長）対応が十分ではなかったということですね。

（愛菜ママ）誠意を見せないとすぐ去っていき信用を取り戻すのはとても難しいので、最初をきちんとしなければならぬと思います。クレームを言うてくれるのは、それだけ関心があつて話してくれるのでありがたいと思っています。本当に冷たい人だと次の年に離れていくので皆が親切丁寧になければならないと思います。

（町長）今後の沼田の農業に夢を持てるような、こんなものが欲しいといったもので何

かないでしょうか。例えば先ほど出た民泊のお話で台湾からのお客さんに農業体験と併せてみようかと考えています。メロンを作っている現場に行つて、その場で切つて食べるということに、ものすごい関心があるそうなので喜ばれるメニューだと思うのですが受入は難しいでしょうか。

（愛菜ママ）農繁期で忙しい時に受け入れることになるので難しいと思いますし、二十年近くも交流している札幌の人にも泊められないのに、ツアーの台湾の人を泊めたら怒られるかもしれないですね。深川ではゲストハウスを建ててい

る方もいらつしやるようです。

（町長）自分たちで受け入れる体制を作っているみたいですね。

（愛菜ママ）全く分からない人が来るのも恐ろしいです。国際交流で来るような人とは違つて観光で来る人は想像がつかないです。でも、泊まるのではなく体験だけならできるかもしれないです。

（町長）体験だけして温泉に泊まつてもらうのも良いかも知れませんが。

沼田の人達が元気になる話題はないでしょうか。

（愛菜ママ）私達がしてもらつたような支援は今あるのでしようか。三十歳以下の若い女性や若い男の人、農業後継者の支援をしてあげなければ、私達のような会はもうできないと思います。

（矢野課長）特定のものでなければなりません。

（愛菜ママ）加工品を加工場で作らせてもらうことはできないのでしょうか。

（町長）可能です。カバノアナタケは加工場で加工して使用料をもらっています。どのような設備があるか一度加工場を見学されたら良いと思います。

（愛菜ママ）共成にできた活性化センターの設備で野菜を真空にできるので、自分の子供に送るために使っています。自分は近くに施設があるのでできますが町の中でも同じように送りたいと思つている人がいると思います。加工場で真空にするとどれくらい掛かるのでしょうか。それと、賞味期限はどれくらいなのでしょう。

（矢野課長）中に入れるものの量や加工する内容によって費用が変わります。賞味期限は約三ヶ月くらいです。

（町長）他に聞いておきたいことはありますか。

活動聴聞

（町長）農家の皆さんは、自分のところに米があるので給食で出す必要は無いという経過があったのではないのでしょうか。

（愛菜ママ）学校の給食で雪中米をアピールするために食べてもらうことはできないのでしょうか。本来の給食は主食を含めるのが普通だと思います。今はおかずだけの給食に冷たいご飯を食べているので雪中米のPRにもならないかなと思います。秩父別は「ゆつ&ゆ」から運んでいるみたいです。



（愛菜ママ）今は農家の子供が少ないと思います。菓子パンを持ってきたり、今はわりと自由なので朝ご飯を炊かない家庭もあるようです。温かいご飯を食べたら、お米の消費も伸びるのかなと思います。子供が冷たいご飯を食べるのは可愛そうなので、お米の美味しさを知ってほしいと思います。本州ではクラスに炊飯器を置いている学校のクラスもあるそうです。



（町長）試験的に一度やってみたいと思います。最後に何かありますか。

（愛菜ママ）今回は呼んでもらったので話すことができたが町民懇談会などでは発言しづらいので、今回のような懇談会を他のグループなどでも開催してほしいと思います。

（町長）グループを紹介していくのも面白そうですね。どのような方法が良いのか検討させていただきたいと思います。

長時間に渡りありがとうございました。こうした機会を多くもって町民にお知らせしたいと思います。私共も町民の皆さんの多くの意見を聞いて行政を進めていきたいと思っていますので、様々なご意見をいただきたいと思います。元職員の方もいらっしゃいますので、ぜひ役場へ足を運んでいただき助成についての相談などもさせていただきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。



「沼田奔川改修事業終了」 沿線住民や関係者が完成を祝う

3月27日ほろしん温泉ほたる館で、奔川改修工事が終了し、奔川沿線住民や関係者など47名が出席し、完成を祝いました。

完成を祝う会で、沼田奔川河川改修事業整備促進期成会の渡辺正夫会長は、挨拶で「地域のみなさんや関係機関の理解ある協力により、河川改修整備され、水害がなくなることに感謝したい。」とあいさつしました。

沼田奔川は、流下能力が低く大雨による浸水被害が多く、地元住民などの改修要望により平成2年より河川改修が行われ、本年3月に改修工事が終わりました。



奔川改修の完成を祝う関係者ら

4 MONTH NUMATA TOWN NEWS

最近のまちのニュース

「最後の滑り、30人が滑走」 ほたる館歩くスキーの集い

ほろしん温泉ほたる館歩くスキーの集い（同館主催）が4月2日、幌新ダム周辺の特設コースで行われ、空知・上川管内などから愛好者30人が参加しました。

コースは、幌新ダム1周の7キロと、同館周辺2キロの2種類。今年は積雪も多く、コースも例年以上のコンディションで、参加者は春の陽気の中、さっそうと滑り快い汗を流していました。



自然を満喫して滑る愛好者たち

車に気をつけてね 役場主婦の会が児童にマスコット贈る

新入児童の交通安全のため役場主婦の会（会長 西田 昭子 会員58人）が4月3日、沼田小学校（天野 政俊校長）を訪れマスコットを寄贈しました。

役場職員の主婦らが集まった同会では、春からの新入生のために昨年から交通安全を祈願したカエルのマスコットを寄贈しています。この「無事カエル」と名付けられた会員手作りのマスコット37個は、6日の入学式で新一年生の児童に配られました。



マスコットを手渡す役場主婦の会

「春の陽気の中、楽しむ」 明日萌・ほたるの里歩くスキーに350人

北空知管内でスキーシーズンの最後を飾る「明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い」（同実行委員会主催）が3月26日、ほろしん温泉ほたる館周辺の特設コースで行われ、道内各地から集まった愛好者ら350人が完走を目指しました。

大会コースは、明日萌駅付近から出発する16キロと幌新ダム1周の7キロ、そしてほたる館周辺を周る2キロの3コース。自然の中をのんびりと滑走できるコースとあって、毎年各地からバス等で参加する団体も多く、この日も、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が参加していました。

大会終了後には、町民ボランティアが用意した豚汁やホットミルクで体を温め、また恒例のバイキング昼食に舌鼓を打ち、参加者同士の親睦を深めていました。



幅広い年齢層の愛好者が参加した

4 MONTH NUMATA TOWN NEWS

最近のまちのニュース

「6年間大病せずに」 石脇敏彦さん町に寄付

3月28日、市1北に在住の石脇敏彦さんが町長室を訪れ、町職員として定年退職後6年間大病もせず、元気で仕事が出来た感謝の気持ちとして、町に20万円の寄付をしました。

西田町長は「これまでも、町の発展にご協力ありがとうございます。大切に使用していただきます。」とお礼を述べました。



寄付を手渡す石脇敏彦さん（左）

「谷口清治さんに感謝状」 高齢者事業団に尽力

4月19日、沼田町高齢者事業団が平成5年に設立され、退任する今年3月までの13年間、長きにわたり会長として尽力された、谷口清治さん（市1北）に感謝状が手渡されました。

石脇新会長は「長期にわたり会長として大変ご苦労様でした。」とあいさつしました。

感謝状を受取った谷口さんは「ありがとうございます。これからも協力をしていきたい」とお礼を述べました。



感謝状を受取る谷口清治さん（右）

「ご寄付ありがとうございました」 渡部 稔さん 町に100万円

永年にわたり、地域の安全と消防発展に貢献された功績が認められ消防庁長官より功労賞を受賞した、旭町在住の渡部 稔さん（沼田消防団団長）（67歳：渡部建設㈱ 代表取締役）が3月24日に町長室を訪れ、「町発展のために使ってください」と100万円の寄付をしました。西田町長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



寄付を手渡す渡部団長（左）

「地域ぐるみで子どもたちを守ろう！育てよう！」 沼田っ子サポーター キャップ交付式

沼田っ子サポーターへのキャップ交付式が3月30日、ゆめっくるのハントホールで行われました。同会では、会員となった方の自主活動による子どもたちの登下校時の交通安全や防犯のパトロールを行っており、子どもたちの安心と地域ぐるみの防犯意識を高揚させる目印となるようにと帽子の交付を行いました。

松田教育長は「子どもたちの安全のため、帽子をかぶっている人は私たちを守ってくれる人だ」という存在になってほしい」と挨拶し、清水警察署長は「みなさんの力を借りて、安全な町づくりをしたい。一人ではなく皆さんで帽子をかぶり、活動をしてください」と話をしました。



キャップを受取ったサポーター会員

まちのニュースは、沼田町公式ホームページで随時更新されていますので、いち早くご覧になることができます。

ホームページアドレス <http://www.town.numata.hokkaido.jp>

地域に密着した積極的な参加を

北海道補給処沼田弾薬支
処長兼分屯地司令

藤 純 雄

広報「めまた」ご愛読の町民の皆様、私は、平成十八年三月二十三日付で陸上自衛隊北海道補給処沼田弾薬支処長兼分屯地司令に着任しました。藤 純雄でございます。町民の皆様には日頃から弾薬支処そして分屯地にご支援、ご理解を賜り、心からお礼申し上げます。

三月二十三日、桜の開花宣言をした東京を後にし二十三日雪まだ深い北の大地北海道沼田に足を踏み入れた時は、時間が一ヶ月後戻りした感じが一瞬ぐらっとしました。



3月に着任した藤 分屯地司令
よろしくお願ひします。

しかし、初めて宿泊したほろしん温泉の露天風呂に入って顔が冷え、我に返りました。雪景色を見、川のせせらぎを聞きながら真つ白な気持ちになり、沼田の色々な色に染まりたいと思いました。「郷にいれば郷に従え」ということわざがあるように、沼田に住めば、沼田に従え」と。

私の田舎は、九州鹿児島ですが沼田と同じ自然豊かなところ。雪深い冬の沼田、雪が解け花が一斉に咲きそろう春の沼田、町が熱く燃え栄える夏の沼田、そして、見渡す限り黄金色に染まる秋の沼田、考えただけでも心がわくわくしてきます。

沼田弾薬支処兼沼田分屯地は、町民の皆様のお力添えを頂き、開処以来今年で十六周年を迎えます。今後とも夏の夜高あんどん祭り、春の空き缶拾い、野球を含めた各種競技会、その他各種行事等に参加・協力

をさせて頂きまので宜しくお願い申し上げます。

経歴… 鹿児島県出身
山形大学卒

昭和五十二年入隊

平成五年 技術研究本部

平成十四年 北海道補給処

平成十六年 補給統制本部

現在五十三歳



希望と夢を胸に 入学シーズン到来

4月になり、町内の幼小中高校で入園・入学式が行われました。小学校の入学式は、6日午前10時より行われ、32名が元気な笑顔をみせながら入学しました。午後1時には中学校の入学式があり、制服姿の35名が決意も新たに中学校生活をスタートしました。また、7日には幼稚園（28名）、10日には高校（13名）の入学式が行われました。また、沼田保育園などの入園式も行われました。



沼田保育園入園式



共成季節保育所入園式



沼田小学校入学式



沼田幼稚園入園式



沼田高校入学式



沼田中学校入学式

子育て

子どもの気持を尊重？ 甘やかし？

子どもの意欲や自主性を育てたいと、子どもが甘やかしと尊重してばかりいると、それをバカにする子を育ててしまうことに気がつかないお母さんたちはたくさんいます。お母さんたちの心の中には、してはいけないという思いが、ささやきながら、こころに響いていて、甘やかしの気持が潜んでいます。このように、意欲や自主性を育てるつもりで、実際は駄々っ子子を育てているのが現実のようです。子どもは、すべてのものがママを受け入れてくれる人、「信頼」の気持は抱きません。

判断能力の未熟な子どもの意見は、意見というよりも親の欲求です。子どもの意見になる親は、一見、民主的に子どもが、実は子どもの欲求を受け入れて、過激な欲求のままだ行動します。幼児は自分の欲求のままだ行動します。断はできません。これはやつてもママは許して、親の態度を見て判断していき「しつけをされなかった子どもたちが、聞き分けのない駄々っ子になるのは当然の成り行きなのです。」

生涯学習だより

ゆめつくる

沼田町教育委員会生涯学習推進室

ご意見・ご相談はお気軽に

教育委員会

電話 35 - 2132

子育て 悩み 相談 電話

専用 35 - 1912

4・5月の行事予定

4月26日(水) おはなしキラキラ(1~4歳)
11:00~ ゆめつくる図書館4月27日(木) おはなしフワフワ(5~8歳)
15:30~ ゆめつくる図書館5月17日(水) ゆめつくるキッズクラブ
10:00~ ゆめつくる

行事の詳細は、配布されているチラシや広報お知らせ版、または教育委員会にお問い合わせください。

「パパの子育て考えよう！」

家庭教育支援事業 父親向け「仕事帰りの寄り道講座」

子育てワークショップを開催しました！



日頃から子どもの幸せ・家族の幸せを願う父親に、子育てについての情報交換をしてもらおうと3月22日、午後6時30分から、ゆめつくる和室において「仕事帰りの寄り道講座～子育てワークショップ～」が開催され、もうすぐパパになる父親から思春期の中学生を抱える父親までの16人が集まり、熱弁トークが繰り広げられました。

父親を対象としたワークショップ形式の講座は、今回が初めての試みで、講師にファミリーライフエドゥケーターの林真未さんを招いて開催しました。参加者のトークを中心に進行し、

それぞれの子育て体験談や家庭教育について話し合う場となり、大変盛り上がった講座となりました。

また、この日は午前の部で「ママたちのおしゃべりクラブ」も開催され、日頃子育てに追われているお母さんたちが、子どもを託児所に預けて参加し、それぞれ子育ての苦労話などを話し合い、情報交換していました。

社会教育委員・体育指導委員が新しく決まりました。

【社会教育委員】定員 8 名

役 職	氏 名	住 所
委 員	青木 健治	幌比里
委 員	畑地 誉	共成
委 員	堀 直美	高穂
委 員	三浦 実希	南 1 条 2 丁目
委 員	小西 克典	本通 2 丁目
委 員	小向 敏文	西町 3 番
委 員	若林 祐治	緑町 2 番
委 員	行武 直美	北 1 条 5 丁目

【体育指導委員】定員 7 名

役 職	氏 名	住 所
委 員	山岡 禎弘	高穂
委 員	武知 秀樹	旭町 2 丁目
委 員	山田 昌希	本通 4 丁目
委 員	中野 宏秋	西町 5 番
委 員	野田 真実	南 1 条 4 丁目
委 員	石崎 真悟	西町 4 番
委 員	田中 秀和	南 1 条 1 丁目

社会教育委員及び体育指導委員の各委員の任期は、平成18年 4 月 1 日から平成20年 3 月31日までの 2 年間となっております。

教職関係職員転入一覧（本年度、教職員転出転入者を紹介します。）

転出された方（転出先）

校長	増澤 清	沼小より岩見沢市日の出小
教諭	岡崎正典	米国ニューヨーク日本人学校
教諭	宮中千恵	沼小より滝川市西小
教諭	幸田尚子	沼小より南幌町みどり野小
事務員	廣島 司	沼小より深川市納内小
校長	山本 繁	沼中より深川市納内小
教諭	原田樹里	沼中より滝川市開成中
校長	津田雄二	沼高より栗山高
教諭	須田和幸	沼高より釧路江南高
事務長	金野夫佐男	沼高より厚真高

転入された方（転入先）

校長	天野政俊	岩見沢市北村小より沼小
教諭	小林由紀	北見市常上常呂小より沼小
教諭	館 秀一	芦別市芦別小より沼小
教諭	丹羽さつき	北竜町真竜小より沼小
事務員	坂本 学	幌加内町幌加内小より沼小
校長	海野尾泰弘	岩見沢市上幌向中より沼小
教諭	村上和徳	小平町鬼鹿中より沼中
校長	小向敏正	恵庭南高より沼高
教諭	大澤裕史	啓成高より沼高
事務長	福井雅敏	浦幌高より沼高

体育施設開放のお知らせ

町民体育館・・・通年（月曜日休館）
柔剣道場・・・通年（月曜日休館）
中学校体育館・・・通年（土・日・祝日休館）
野球場・・・5 月 1 日～9 月 1 5 日
プール・・・6 月 1 0 日～8 月 3 1 日

テニスコート 5 月 1 日～1 0 月 3 1 日
ゲートボール場 5 月 1 日～1 0 月 3 1 日
体育館パークゴルフ場 5 月 1 日～1 0 月 3 1 日
雨竜川運動公園町民パークゴルフ場
4 月 2 9 日（予定）～1 0 月 3 1 日

入学シーズン 沼田っ子サポーター活動開始！

安全パトロールとあいさつ・声かけ運動にご理解を・・・

○活動内容

サポーター会員は、朝晩の散歩時など都合のつく時間に下記について自主活動しています（現在 1 0 0 人が登録しています）。

登下校時の交通安全、不審者情報、防犯のパトロールの実施

地域ぐるみで子どもたちを見守る活動をしています。

パトロール時や、ふだん街で子どもを見かけた時の声をかけ

「おはよう」「こんにちは」「元気かい」などと子どもたちに声をかけ、子どもと大人（地域全体）が自然に挨拶を交し合える活動をしています。

○会員申込み方法 沼田町教育委員会窓口にある所定の用紙に記入するか電話でお申込みください。



↑会員はこの帽子をかぶって活動しています。



3月24日 若山象風「書」の教室

(上) 34人が参加し、皆さん気持ちを込めて筆を走らせていました。「もう一度開催してほしい」とリクエストがもっとも多い教室でした。

特集 講座教室

平成18年2月から3月にかけて行われた沼田町生涯学習講座の特集です



3月7日 ピラティス教室

(右) 英会話教室は、大人の部とキッズの部に分けて開催しました。Do you speak English?



3月1日ほか 英会話教室

(左) 17年に引き続き2回に分けて今年も開催！37人が参加し、リラックスムードで取り組んでいました。



3月1・20日 陶芸教室

(上) 人気の陶芸教室。皆さんなかなかの手つきで、個性あふれる作品を作っていました。焼き上がった完成品の出来栄は？



3月25日 クロスカントリー教室

(左) 今年初めて開催したクロカン教室。参加者は少なかったものの、好天に恵まれ、親切なマンツーマン指導で充実した教室となりました。



3月30日 ジョギング教室

(上) 最後に開催したジョギング教室。心地よい汗を流しながら、参加者は様々なランニング技術を身につけていました。

(右) 町民の愛好者が講師となって開催された講座。初めての企画でしたが、簡単で面白く、とてもかわいいパッチワークが出来上がりました！



3月1日 きめこみパッチワーク講座

ゆめつくる 図書館 だより

図書館からの お知らせ

～開館時間が変わりました～

月曜日の開館時間が14:00～18:00から10:30～18:30に変更になりました。
開館時間は右記のとおりです。

利用案内

月～木曜日……………10:30～18:30
金曜日……………10:30～20:30
土・日・祝日……………9:30～17:00

1人10冊 2週間

新しく 入った本

一般書

アシュリー……………アシュリー ヘギ
生きててもいい……………野口 美香
陰日向に咲く……………劇団ひとり
県庁の星……………桂 望実
チェケラッチョ……………秦 建日子
小泉今日子の半径100m……………小泉 今日子
いまだき中学生日記……………魚住 絹代
フリーなふたり……………コンドウ アキ
子どもの格言……………しんどう こうすけ
ミュウ……………つかさ
よいクマわるいクマ……………萱野 茂
60歳の台所……………水谷 和生
絵本からうまれたおいしいレシピ3……………きむら かよ
お子さまランチとおべんとう……………吉田 瑞子
かわいいレース編み雑貨
だだっ子がスグきげんになる魔法の遊び鈴……………木 みゆき
はじめてのカンフー……………伊藤 聡

児童書

いのちの作文……………綾野 まさる
かいけつゾロリのおたから大さくせん 後編……………原 ゆたか
くまのプーさんスペシャル……………とき ありえ
こちら葛飾区亀有公園前派出所両さんの気象・秋本 治
つくってあそぼう！おもしろマジック 1
ドラえもののきょうりゅうだいじてん
ポケモンえいごじてん……………ウィン グン
ポケモン全キャラ大事典
名探偵コナン推理ファイル環境の謎……………青山 剛昌

幼児の絵本

あしたもともだち……………内田 麟太郎
アストロボーイ鉄腕アトム……………手塚 治虫
アンパンマンともぐりん……………やなせ たかし
アンパンマンとらーめんてんし……………やなせ たかし
おべんとうバス……………真珠 まりこ
かとおもったら……………いしばし ひろやす
子ぎつねヘレンの10のおくりもの……………いまい まさこ
たまごねえちゃん……………あきやま ただし
どろにんげん……………長 新太
ななみちゃん……………野村 辰寿

オススメの一冊

『SONIA 白くなった黒ラブ・ソニア』

ご主人をガンで亡くした美しい黒毛のラブラドル・レトリバー、ソニア。それでもソニアはご主人を思い続けた。黒い毛が全身真っ白に変わってしまうほどに……。本当にあった犬と飼い主との切ないラブストーリー。

北海道新聞で紹介され、話題になった一冊です。ソニアのご主人である葛西 孝二さんは沼田町出身の方です。犬好きの方も、そうでない方も、ぜひ読んで、ソニアと葛西さんの無償の愛を感じてください。



4月23日～5月12日まで
子ども読書週間です

「こども読書週間」は、こどもたちによい本に親しむことをすすめ、本を読む習慣を身につけるための好機です。父母みずからが読書する姿をこどもたちの眼にふれさせ、親子で身近にいつも本のある生活を楽しみましょう！！
ぜひ、図書館をご利用ください。



けいせつ 雪だより

column VOL.61

雪の学校連載コラム



写真1 武田 菱

写真一は、武田菱と呼ばれているもので、山の地肌が四つの菱形に見えます。また、写真二は残雪が白く十文字を作っているように見えます。

この他にも、代掻きをしている馬の形や、種蒔き爺さんと呼ばれる様な形などがあります。

これらは、いずれも本州の雪形ですが、私達の地域でも、昔から親しまれている雪形があると思います。そのような

雪形の紹介・雪冷房実験の実施

雪形とは、春先の残雪で、山の斜面などにつくる、形（絵）のことで、雪の白さで描いたり、解け出た地面の色で描かれたりします。

雪国の多くは稲作地帯が多く、昔から、山間の雪形を見て、代掻きや苗代つくり、田植えなどの農作業の頃合いを見計り、その年の収穫量などを予想していました。

雪形は全国で見られますが、やはり山岳地帯に多いようです。

雪形があつたら、教えていただければと思います。山間部をよく見ると、新しい雪形が発見できるかもしれません。



写真2 十文字

雪の科学館で冷水循環式の熱交換実験を行いましたので、概要を報告します。

冷水循環式というのは、ゆめつくるや、和風園に採用されている雪冷房方法で、雪解け水を使って建物などの冷房を行います（雪中米の保存は、冷風循環式で、雪で冷された空気を直接循環しています）。大量に冷熱が必要な時などに向いていて、暖房用の配管と

共用でき、配管スペースが少なくて済み、コストダウンが可能です。

冷熱量をたくさん出すためには、雪に雪解け水を浸す浸水式が良く、ゆめつくるなどで採用しておりますが、浸水により雪の下部が侵食され、雪の塊が割れる現象が起こります。

貯雪庫の様なコンクリートで覆われた屋内だと、雪が割れても問題はないのですが、屋外で貯める雪山方式だと、雪が割れると断熱材として使用しているバーク材がはがれ、あつという間に雪が解けてしまいます。



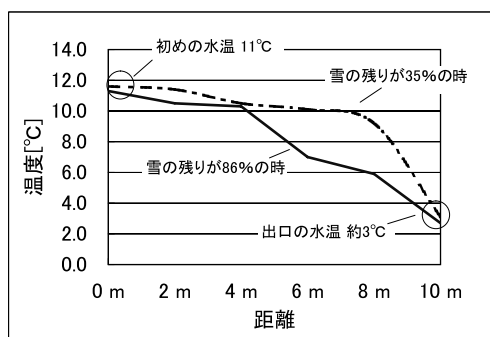
奥から手前へ水が流れます。

そこで、雪が侵食して割れない様に浸水式を止め、床の表面だけ、雪解け水を流す散

水式雪冷房が考えられますが、どのくらい冷熱量が発生するかよくわかりませんでした。

今回の実験は、幅五〇、長さ一〇mの床を作り（写真三）、そこに、雪を入れ、散水すること、どのくらい温度が下がるか確かめました。

実験結果、グラフから、初めの水温を一一で流量を毎分四、五リットルで流した場合、雪の残りが、約三〇%になっても、出口の水温は三前後になり、十分冷房できることがわかりました。幅を長くした場合の水の流れを考慮する必要がありますが、雪山センターの様な屋外で行う場合でも、雪が割れずに、冷房に使える温度を得られることが分りました。



こちら 沼田警察署 35-3110

新入学（園）児の交通事故を防ぎましょう。

手を上上げて しっかり
見よう 右左

【子供の方へ】

新学期が始まり、学校や幼稚園に初めて通うことになったお友達がたくさん歩いていきます。

・お兄さんやお姉さんは、道路を渡ったり、歩道を歩くときは、新入生のお手本になるようしっかり行動しましょう。

・道路を渡るときは、信号が青色になっても、あわてない



で、車が止まるのを確かめてから渡り始めましょう。

・トラックやダンプカーなどの大きな車には、運転手さんから見えないところがたくさんあります。近くでは遊ばないようにしましょう。

【ドライバーの方へ】

真新しいランドセルを背負ったり、通園力パンを肩にかけた子供の姿が目につく季節になりました。子供たちを見かけたら、自然にアクセルをゆるめ、学校や公園の近くを通るときは、特に慎重な運転に心がけましょう。

【保護者の方へ】

交通ルールは、事故を起こしたり、被害に遭わないための大切な決まりです。

お父さんやお母さんが、日常生活の中でお手本を示しながらしっかり教えてあげましょう。

保護者の方は、お子さんと通学・通園路を一緒に歩いて、危険な場所や車の危険な動きについて分かりやすく教えてあげて、安全な行動がとれるように指導しましょう。

春の行楽に伴う交通事故を防ぎましょう。

思いやる 心ひとつで
事故はゼロ

【歩行者、自転車利用者の方へ】

・道路を横断する時は、車がないこと、車が止まってくれたことを確かめてから横断しましょう。

・交差点を横断する時は、左折者や右折者の動きにも十分注意しましょう。

・自転車も「とまれ」の標識のある場所では、必ず止まって左右を確認しましょう。

・自転車に反射材を取り付けて、夜間はライトを点灯して走りましょう。

【ドライバーの方へ】

・もしもの時にあなたを守ってくれるもの、それがシートベルトです。必ずシートベルトを着用しましょう。

また、子供さんには、チャイルドシートを必ず着用させてください。

・時間に余裕をもって運行計画をたてて、スピードの出しすぎや無理な追い越しをしないようにしましょう。

・交差点を右左折する際は、十分に速度を落とし、横断する歩行者や自転車の動きに注意し、左右の安全をよく確かめましょう。



ご存知ですか？ 警察署協議会

警察署協議会は、警察署長が警察署の仕事の進め方について住民のみなさんの考えが反映されるよう、その意見を伺うために設けられた機関です。

また、同時に警察署長が、警察署の仕事の進め方について、住民のみなさんに説明し、その理解と協力を求める場でもあります。

このように、警察と住民の皆さんが相互に理解を深めることが警察署協議会の運営の基本です。

協議会は、町民と警察との橋渡し役です。

深夜の車の騒音がうるさくて眠れない、あの交差点は信号が無くて危険など、小さな事でもかまいませんので直接警察署に相談できないときは、お気軽にご相談下さい。

沼田町の協議会委員は次のとおりです。

吾子 博 明（市内三）
松尾 信 子（旭町）
松田 剛（市内五）

平成 18 年度

各種健診の お知らせ

こんにちは保健師です

Spring

4

暖かい季節となり、いよいよ今年度の健診の申し込みが始まります。下記のとおり一部変更がございますので、十分ご確認の上期日までにお申し込み下さい。(4月下旬各家庭に申し込み書送付)

65歳以上の検診が変わります！！

生活習慣病を早期に発見するための循環器検診に加え、65歳以上の循環器検診受診者全員に介護予防の観点から生活機能を確認する「生活機能評価」の健診項目が追加されます。

*生活機能評価とは？ 要支援・要介護状態に陥りやすい生活機能低下の早期発見のため、栄養・運動・口腔・生活全般など生活状況を確認します。確認方法は、問診、血液検査、診察で行います。

*料金は？ 循環器検診の中で実施しますので、「生活機能評価」分は全員無料です。

*誰でも受けられるの？ 65歳以上でかつ循環器検診の対象の方全員に「生活機能評価」を実施します。



健診対象者の確認を！！

毎年、医療にかかっていたり、職場で健診を受けているにもかかわらず、重複して住民健診を受けている方がいらっしゃいます。本来、その健診項目につきましては対象外となりますので、今一度ご確認の上対象となる健診につき、お申し込み下さい。



循環器検診の意義をもう一度確認しましょう

従来、行われてきた循環器検診は、生活習慣病予防のため年に1回健康状態を確認するもしくは生活習慣病の早期発見・早期治療を目的に実施してきました。

しかし、生活習慣病は国民医療費の3割を占め、死亡数割合では6割を占めるほど、勢いが増しています。そこで、生活習慣病の中でも「メタボリックシンドローム (内臓脂肪型肥満・糖尿病・高血圧・高脂血症)」に着目し、従来の住民健診の体制を見直す動きが出てきています。



こんな健診の受け方していませんか？

- * 健診を受けたことに満足していませんか？
- * 健診を受けただけで生活習慣を見直さない・・・
- * 要精密検査でも毎年だからと自己判断し未受診・・・



健診とは・・・

健診は、その後の受診者自身の生活習慣を改善する事が前提です。そのために、私たち保健師・栄養士は健診結果を基に、より一層の指導をしていきます！！



平成18年度

住民健診の日程と内容について



健診料金は、各健診1つにつき1000円となります。(一部対象者自己負担なし)

検 診 名	備 考	対象年齢	日 程	会 場
総 合 健 診				
循環器検診	身体計測 血液・尿・眼底・心電 図検査、血圧測定、診察など	30・35歳 40歳以上	7月11日 ～14日 11月28日 ～29日	ふれあい (健康福祉 総合センター)
生活機能評価	上記項目に生活機能を確認する ための問診、診察など追加	上記受診者のうち 65歳以上の方全員		
胃がん検診	胃バリウム検査	35歳以上		
大腸がん検診	採便検査	40歳以上		
結核・肺がん検診	胸部レントゲン検査	40歳以上		
女性の1日総合健診（健診結果説明なども当日行います）				
循環器検診	身体計測 血液・尿・眼底・心電 図検査、血圧測定、診察など	30・35歳 40歳以上	7月20日 7月25日 11月21日 	旭川厚生病院 健診センター 役場から、 旭川厚生病院 まで送迎バス がです。 沼田発 7時30分 沼田着(予定) 16時30分
生活機能評価	上記項目に生活機能を確認する ための問診、診察など追加	上記受診者のうち 65歳以上の方全員		
胃がん検診	胃バリウム検査	35歳以上		
大腸がん検診	採便検査	40歳以上		
結核・肺がん検診	胸部レントゲン検査	40歳以上		
子宮がん検診	視診・子宮頸部細胞診・内診	20歳以上（2年に1回）		
乳がん検診	マンモグラフィ・視触診	40歳以上（2年に1回）		
子宮・乳がん検診				
子宮がん検診	視診・子宮頸部細胞診・内診 子宮体部がん検診は希望者 のみの実施で全額自己負担	20歳以上（2年に1回）	12月 1日	ふれあい (健康福祉 総合センター)
乳がん検診	マンモグラフィ・視触診	40歳以上（2年に1回）		

【問い合わせ先】住民生活課 健康福祉グループ 保健指導班
電話 35 - 2120

消 報

深川地区消防組合
沼田支署

- 第 9 号 -

**組合管内で火災増加中！
秩父別町で焼死者火災発生
四月二十日より春の火災予防運動実施**

今年に入り組合管内（沼田町・深川市・妹背牛町・秩父別町・北竜町・幌加内町）では、六件（昨年同期一件）の火災が発生しており、三月十九日には秩父別町の住宅火災において尊い命が失われています。沼田町においては、無火災六百日以上を継続中ですが、これからの時季は空気が乾燥し強風が吹くなど火災が発生しやすいとなりますので、火の元の点検を行い、火災を未然に防ぐと共に、住宅用火災警報器の設置を検討いたしましょう。また、四月二十日から三十日まで全道春の火災予防運動が実施されています。期間中、消防署及び消防団では次の行事を行い、火災

	火災件数
沼田町	0(0)
深川市	4(0)
妹背牛町	0(0)
秩父別町	2(0)
北竜町	0(1)
幌加内町	0(0)
合 計	6(1)

平成18年(1~3月)火災件数
(カッコ内は昨年同期件数)

の無い街づくりを目指します。
期間中、毎日夜九時にサイレン吹鳴
全町防火パレード（四月二十六日十三時三十分）
防火対象物立入検査
火災想定訓練
消防車両による巡回
各事業所避難訓練及びリーフレット配布

沼田消防団
渡部団長が

消防庁長官
功労章を受章

三月三日（金）、東京ニッソヨーホールにて、日頃の消防人としての功績が認められ表彰されました。



消防庁長官功労章
受章祝賀会

受章を祝い三月二十一日（火）に、ほたる館にて祝賀会が開催されました。（写真は受章された渡部団長と洋子夫人です）

遭 難 救 助
訓練を実施



沼田消防団第一分団幹部は三月十八日、役場庁舎裏雪山にて「なだれ」や「屋根の雪」などで、雪に埋まってしまった人の捜索と、救助する訓練を行いました。指導には、沼田山岳遭難救助隊の村田隊長に講師を依頼しました。

各戸査察を実施

沼田消防団第三分団は三月十日、管轄地域の沼田西部地域において防火査察を実施しました。

災害研修会の実施

沼田消防団第一分団は三月二十七日、震災時などの消防団活動を研修しました。

住宅用火災警報器の取り付けが義務化されました。

●新築住宅
平成十八年六月一日から
●既存住宅
平成二十三年五月三十一日まで
に設置しなければなりません。

いずれも問い合わせ先は
沼田支署
電話 三五二〇五〇



査察は、防火チラシ「家庭の防火対策（寝室編）」を配布しながら火災予防を呼びかけました。

まちづくりの主役は町民！それぞれの町内会同士や行政が横の連携を図り
沼田町の自立のため、協働の精神でまちづくりに参加していきましょう。

NUMATA

自治振興通信

第6号

自治振興協議会
新年度事業・予算を決定

町自治振興協議会（山崎精二会長）の平成十八年第二回総会が三月二十三日、ゆめつくるホールで開かれ、平成十八年度事業計画及び予算が決定しました。

住民自治推進
「組織体制の見直しへ」

総会で、山崎会長が「まちづくり基本条例の制定で、自治振興協議会の役割は重要になってくる。皆さんの一段の協力をお願いしたい。」とあいさつしました。

総会では、町長より平成十八年度の事業概要の説明を受けた後、本年度の事業計画及び予算（案）が審議され決定されました。

また、本年よりこれまで組織を構成してきた町内会長に加え、子供たちの育成強化活動を行う沼田っ子連絡部会、さらに町内の環境美化等の活動を行う環境美化・緑化推進部会など組織を五部会に細分化する見直しを行い、当協議会の組織強化を図るとともに、住民中心の活動組織としてスタートしました。

今後住民と行政が対等な立場で一体となり、協働のまちづくりを進めていきます。

平成18年度事業計画

- 18.3.下旬 ・第2回総会（事業計画・収支予算）
- 4.中旬 ・各部会会議
- 4.下旬 ・役員会
- 5.中旬 ・道路河川の清掃活動
- 6.月上旬 ・グリーンルールぬまた21
- 6.下旬 ・役員会
- 7.中旬 ・視察研修
- 10.下旬 ・明日萌街道景観保存ボランティア
- 11.月上旬 ・役員会・部会長会議
- 11.中旬 ・要請活動
- 12.月上旬 ・役員会・町長との懇談会
- 12.中旬 ・第3回通常総会
- 19.1.下旬 ・各部会会議

平成18年 沼田町自治振興協議会 収支予算

【収 入】（単位：円）

科目	決算額	内 容
負担金	28,000	1,000円×28団体
補助金	190,000	町補助金
前年度繰越金	62,445	
交付金	126,000	環境美化運動推進事業交付金
雑収入	555	預金利子等
合計	407,000	

【支 出】（単位：円）

科目	決算額	内 容
会議費	80,000	会議・役員会時賄
事務費	5,000	
事業費	317,000	視察研修、環境美化運動推進事業
雑費	5,000	コピー使用料
合計	407,000	

4月1日
機構改革

役場グループ制導入

- ・ 職員の削減に伴う効率的な行政運営を図るため、各課にグループ制を導入しました。
- ・ 公営住宅の管理は、財政課から建設課に変わりました。
- ・ 各手続き相談窓口は下記のとおりとなっております。

沼田町役場電話番号表 (平成18年4月1日)

課 名	直通番号	担当する主な業務
総 務 課 (総務グループ) (広報情報グループ) (事業管理室)	(0164) 35-2111 Fax 35-2393	行政一般・町長勤務・職員に関すること・防災・情報公開・行政区・行政区長・自治振興協議会・国際交流・選挙管理委員会・公平委員会・統計・広報・町勢要覧・情報処理・スコアセンター
地 域 開 発 課 (企画政策グループ) (商工観光グループ) (利雪技術開発センター)	35-2112	まちづくり・国土利用計画・広域行政・商工・観光・企業誘致・定住促進・自衛隊・行刑施設誘致・新エネルギー・雪利用研究
(TMO推進室)	沼田商工会内 (35-2231)	TMO事業
財 政 課 (税務グループ) (財務グループ)	35-2113	町道民税・法人町民税・固定資産税・軽自動車税・国保税・所得証明・納税証明・地籍管理・町財政全般・町有財産・庁舎管理
農 業 振 興 課 (農業振興グループ) (五カ山地区模範牧場)	35-2114	農業経営・農業災害・制度資金・有害鳥獣駆除・森林・治山・農作物の生産振興・水田総合利用対策・畜産・地籍事業・農業制度・事業・模範牧場
農業委員会事務局	Fax 35-2339	農地移動・農業者年金・生前贈与・農地法・農業関係証明
住 民 生 活 課 (総合窓口グループ)	35-2115	戸籍・住民登録・印鑑登録・外国人登録・身分証明・埋火葬・墓地火葬場・年金・児童手当・児童扶養手当・国民健康保険・老人医療・乳幼児医療・重度心身障害者医療・ひとり親家庭等医療・交通安全・防犯・公害・環境衛生・ゴミ・畜犬登録・害虫駆除・消費生活・労働
《健康福祉総合センターふれあい》 住 民 生 活 課 (健康福祉グループ) (地域包括支援センター)	35-2120 Fax 36-2005	児童・母子福祉・障がい者福祉・生活保護・保育所・地域医療・各種検診・予防接種・母子手帳・献血・高齢者福祉・介護保険・介護相談・介護予防・戦傷者遺族援護・民生委員
建 設 課 (管理グループ) (技術グループ)	35-2116	工事契約・町道占用・公園使用・建築工事・建築確認申請・道路・河川・公園工事・維持管理・除排雪・公営住宅・町営バス・地域交通・上下水道維持管理・合併処理浄化槽・上下水道料金
出 納 室	35-2145	支払・収納
議 会 事 務 局	35-2117	議会庶務・議会広報・監査委員
《生涯学習総合センターゆめつくる》 教 育 委 員 会 事 務 局	35-2132 Fax 35-1210	学校教育・社会教育・体育振興・こども館
(図 書 館)	35-3515	図書の貸出し・保管

沼田町民会館	35-2727	沼田町農産加工場	35-1206
沼田町民体育館	35-2709	沼田町化石館	35-1034
養護老人ホーム和風園	35-2449	町民パークゴルフ場	35-2900
特別養護老人ホーム旭寿園	35-2611	沼田幼稚園	35-3435
デイ・サービスセンター	35-2695	沼田町社会福祉協議会	35-1998
グループホームなごみ	36-2525	沼田消防支署	35-2050

自然と融和した温泉郷 ほろしん温泉ほたる館

平成18年度イベントスケジュール

下記日程は予定です。この他たくさんの催事を予定しております。

■GW特別企画

- ・4/29(土)～4/30(日)
- ・5/1(月)～5/7(日)

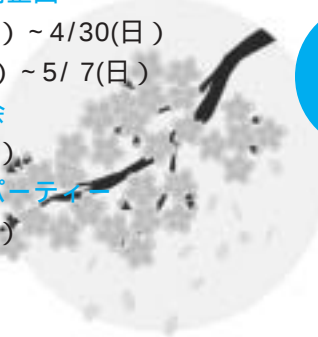
■PG大会

- ・6/13(火)

■ビールパーティー

- ・6/23(金)

春



■紅葉祭り

- ・10/8(日)

■PGチャンピオン大会

- ・10/17(火)

■宿泊麻雀大会

- ・11/25(土)～11/26(日)

■クリスマスディナー

- ・12月中旬

秋



■ほたる祭り2006

- ・7/8(土)～8/6(日)

■PG大会

- ・7/11(火) 8/8(火) 9/12(火)

■白樺館開業記念企画

- ・9/5(火)

■ゴルフ大会

- ・9/10(日)

■敬老週間企画

- ・9/18(月)～9/24(日)

夏



■お正月企画

- ・1月中旬

■冬のほたる

- ・2月下旬～3月上旬

■地酒まつり

- ・2月下旬

■麻雀大会

- ・3月上旬

■歩くスキーの集い

- ・3月上旬

冬



新企画

レディースの日
「毎月第2木曜日」(5月～)
ローション&クリームその他多数のアイテムを
女性脱衣室に無料配置

ペアの日

毎週水曜日(7～8月・祭日を除く)
入浴が2人で500円になります

宿泊予約状況

下記の予約状況は、平成18年4月15日現在の宿泊予約状況です。キャンセル等で予約できることもあります。また、会議室、宴会場の予約は含まれておりませんのでお問い合わせ下さい。

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	○	○	×	×	×	×
7	8	9	10	11	12	13
○	○	○	○	○	○	○
14	15	16	17	18	19	20
○	○	○	○	○	○	○
21	22	23	24	25	26	27
○	○	○	○	△	△	○
28	29	30	31			
○	○	○	△			

×=満室

△=残りわずか

○=余裕あり

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				○	○	×
4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	△
11	12	13	14	15	16	17
○	○	○	○	○	△	△
18	19	20	21	22	23	24
○	○	○	△	△	○	×
25	26	27	28	29	30	
○	○	○	×	○	○	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
						×
2	3	4	5	6	7	8
△	○	○	○	○	○	△
9	10	11	12	13	14	15
○	×	×	○	○	○	×
16	17	18	19	20	21	22
△	△	×	△	○	○	△
23	24	25	26	27	28	29
○	△	○	△	△	△	△
30	31					
△	△					

メルマガ「ほろしん温泉歳時記」配信中！！

ほろしん温泉では、毎週火曜日にまぐまぐメールマガジンサイトから「ほろしん温泉歳時記」を配信中です！配信希望の皆様は、ホームページのほろしん温泉トップページから登録ができますので、是非ともお願い申し上げます。

NOWな やんぐ power

無く静かな所が好きなので、とても良い町だと思います。昨年のおんどん祭りで商工会ミズあんどんになったことで、あんどん祭りも好きになりましたし、色々な方と出会えたことで良い経験ができました。皆さんがとても良い人ばかりだと思います。

今回は、川嶋 敬さん(市一

東・二十七歳)からの紹介で、上中沙緒梨さん(市一北・二十四歳)です。

上中さんは深川市出身で、深

川東商業高等学校を卒業後、拓殖大学北海道短期大学へ進学し、卒業後に現在の中神歯科医院に勤務されて三年になります。

【趣味は何ですか?】

体を動かすのが好きで、特に水泳やバドミントンをしています。最近では料理にも凝っていて、運動後に自分でおつまみを作ったり、ビールを飲むのがとても好きです。

【沼田町の良いところは?】

都会に住みたいと思ったことが

【今後の抱負】

今年は「美しくなる」をモットーにしています。最近始めた料理を含め、女にみがかをかけていきたいです。

【最後に一言】

一生懸命に満足のできるような治療をしますので、町内の皆さんはぜひお越し下さい。

今回は、佐々木俊行さん(市内五・二十四歳)です。どうぞお楽しみに。



すくすく育ってね

今月号の赤ちゃんです。

よろしくね!

小原 歌恋ちゃん(長女)
2月18日生まれ
お父さん 秀治
お母さん 真奈美
(市一南)



岩井 櫻空くん(二男)
1月8日生まれ
お父さん 郁俊直
お母さん 恵直
(緑ヶ丘)



おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
野上ヒサノさん	3月12日	83歳	旭町東
西浦外次郎さん	3月21日	99歳	旭町東
川嶋 忠則さん	3月23日	75歳	緑ヶ丘
田淵 博子さん	3月27日	74歳	緑ヶ丘
荒尾 忠夫さん	4月10日	78歳	市内5
井田 文義さん	4月12日	87歳	旭町東
沼田 忠さん	4月19日	101歳	旭町東

人の動き

人口 4,039人(前月比 42人)

(男 1,902人・女 2,137人)

世帯 1,785戸(前月比 18戸)

(平成18年4月1日現在)

交通事故死ゼロ

2468日

(平成18年4月1日現在)